

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX L840



活用ガイド

はじめに	➡ i
目次	➡ xiii
各部の名称	➡ 1
撮影の準備	➡ 6
撮影と再生の基本操作	➡ 12
いろいろな撮影	➡ 22
いろいろな再生	➡ 57
動画の撮影と再生	➡ 68
メニューを使う	➡ 75
Wi-Fi（無線LAN）を使う	➡ 116
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	➡ 120
付録	➡ 130

はじめに

はじめにお読みください

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□iv~x) および「Wi-Fi (無線LAN) 機能について」(□xi) をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

- すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影の準備」(□6) および「撮影と再生の基本操作」(□12) をご覧ください。

本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のウェブサイトから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（メモリーカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

Wi-Fi設定は、Wi-Fi設定メニュー（□75）の【設定の初期化】で消去してください

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

（VCCIマークは以下の操作でモニター上に表示されます。MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 認証マークの表示 → ボタン）

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

 **警告** (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、
露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない
感電や発火などの事故や故障の原因になります。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、
すみやかに電池を取り出すこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。
電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等にもむけてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害の原因になります。
撮影時には、1 m以上離れてください。
特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



保管注意

ストラップが首に巻きつかないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない
首に巻き付くと窒息の原因になります。



警告

指定の電源(電池、ACアダプター)を使う
指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。



禁止

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



使用禁止

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



注意 (カメラについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない

ケガの原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、レンズにキャップをつけて太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



使用注意

航空機内での使用については、航空会社の指示に従う

病院内での使用については、病院の指示に従う



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池やACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。



プラグを抜く

ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。



使用注意

レンズの可動部には触れない

ケガの原因になります。



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因になることがあります。

危険 (アルカリ電池、リチウム電池について)



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておく、目に傷害を与える原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

警告 (アルカリ電池、リチウム電池について)



警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**警告**

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**警告**

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**保管注意**

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

**警告**

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**水かけ禁止**

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

**使用禁止**

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**禁止**

充電電池以外は充電しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**警告**

電池を廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。

**警告**

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

**警告** (アルカリ電池について)**警告**

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険 (ニッケル水素充電電池について)



使用禁止

リチャージャブルバッテリー EN-MH2 は、COOLPIX 用 Ni-MH 電池を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電電池で COOLPIX L840 に対応しています

EN-MH2 に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用のチャージャーを使用して4本セットで同時に充電すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。



禁止

新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因になります。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておく、目に傷害を与える原因となります。

警告 (ニッケル水素充電電池について)



警告

外装チューブを外したり、傷をつけないこと

また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

- | | | |
|---|--------------|---|
|  | 警告 | 電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、破裂、発火の原因となります。 |
|  | 水かけ禁止 | 水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。 |
|  | 禁止 | 変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|  | 保管注意 | 電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。 |
|  | 警告 | 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|  | 警告 | 電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。 |
|  | 警告 | 電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。 |
|  | 警告 | 使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
-  **注意** (ニッケル水素充電機について)
- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 注意 | 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|---|-----------|--|

Wi-Fi (無線LAN) 機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品の Wi-Fi の無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi (無線LAN) 機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています（以下の操作でモニター上に表示されます。MENUボタンを押す → メニューアイコン → 認証マークの表示 → ボタン）。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです：
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi 機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。
なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi 接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（75）の【設定クリアー】で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに	i
はじめにお読みください	i
本書の記載について	i
ご確認ください	ii
安全上のご注意	iv
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xi
<hr/>	
各部の名称	1
カメラ本体	1
液晶モニターの表示内容	3
撮影モード	3
再生モード	5
<hr/>	
撮影の準備	6
ストラップとレンズキャップの取り付け方	6
電池とメモリーカードを入れる	7
使用できる電池について	7
電池やメモリーカードを取り出すときは	8
メモリーカードと内蔵メモリーについて	8
電源を ON にして、表示言語と日時を設定する	9
フラッシュのポップアップと収納	11
<hr/>	
撮影と再生の基本操作	12
おまかせシーンモードで撮影する	12
ズームを使う	14
シャッターボタンの半押しと全押し	16
液晶モニターの角度を変える	16
画像を再生する	17
画像を削除する	18
撮影モードを変える	20
フラッシュやセルフタイマーなどを使う	21
動画を撮影する	21

いろいろな撮影	22
SCN [*] (おまかせシーン) モード	22
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	23
ヒントとご注意	24
かんたんパノラマの撮影方法	29
かんたんパノラマの再生方法	31
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)	32
ベストフェイスモード (顔をよりきれいに撮影する)	34
笑顔自動シャッターを使う	35
セルフコラージュを使う	36
ショートムービーショーモード (つなげて作る短編動画)	38
📷 (オート撮影) モード	41
クリエイティブスライダーを使う	42
フラッシュモード	43
セルフタイマー	45
マクロモード (接写する)	46
露出補正 (明るさを調節する)	47
フラッシュやセルフタイマーなどの初期設定一覧	48
ピント合わせについて	50
顔認識撮影について	50
美肌機能について	51
ターゲットファインドAFについて	52
オートフォーカスが苦手な被写体	53
フォーカスロック撮影	54
撮影時に組み合わせて使えない機能	55

いろいろな再生	57
拡大表示.....	57
サムネイル表示 / カレンダー表示.....	58
撮影日一覧モード.....	59
連写した画像（連写グループ）の再生と削除.....	60
連写グループの再生方法.....	60
連写グループの画像を削除する.....	61
画像の編集（静止画）.....	62
画像編集の前に.....	62
クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）.....	62
簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）.....	63
D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）.....	64
赤目補正（フラッシュ撮影による赤目を補正する）.....	64
メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）.....	65
スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）.....	66
トリミング（画像の一部を切り抜く）.....	67

動画の撮影と再生	68
動画撮影中に静止画を記録する.....	71
動画再生中の操作.....	72
動画の編集.....	73
動画の必要な部分だけを切り出す.....	73
動画の1フレームを静止画として保存する.....	74

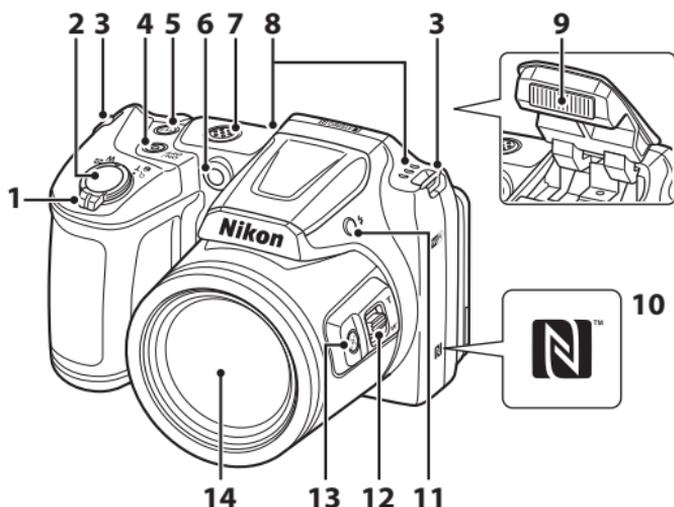
メニューを使う	75
撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)	77
画像モード (画像サイズ/画質)	77
ホワイトバランス (色合いの調節)	79
連写	81
ISO感度設定	83
AFエリア選択	84
AFモード (オートフォーカスモード)	87
ベストフェイスメニュー	88
セルフコラージュ	88
目つぶり軽減	89
再生メニュー	90
Wi-Fi 送信画像の指定	90
スライドショー	91
プロテクト設定	92
画像回転	92
画像コピー (メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー)	93
連写グループ表示方法	94
画像選択画面の操作方法	95
動画メニュー	96
動画設定	96
AFモード	100
動画手ブレ補正	101
風切り音低減	101
フレームレート設定	102
Wi-Fi 設定メニュー	103
文字入力画面の操作方法	104

セットアップメニュー.....	105
地域と日時.....	105
モニター設定.....	107
日付写し込み.....	109
静止画手ブレ補正.....	110
AF 補助光.....	110
電子ズーム.....	111
操作音.....	111
オートパワーオフ.....	112
カード/メモリーの初期化（フォーマット）.....	113
言語/Language.....	114
設定クリアー.....	114
電池設定.....	114
認証マークの表示.....	115
バージョン情報.....	115
<hr/>	
Wi-Fi（無線 LAN）を使う.....	116
スマートデバイスにソフトウェアをインストールする.....	116
カメラとスマートデバイスを接続する.....	117
スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する.....	119

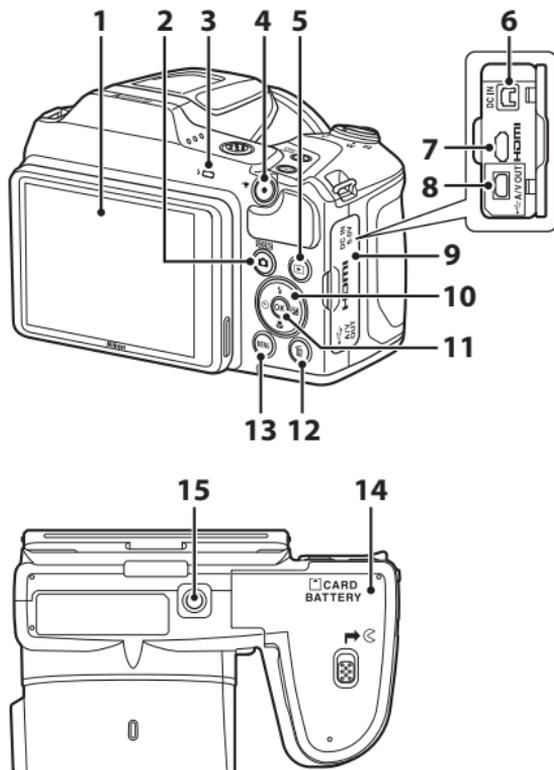
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	120
テレビとの接続（テレビ画面での再生）	122
プリンターとの接続（ダイレクトプリント）	124
カメラとプリンターを接続する	124
1コマずつプリントする	125
複数の画像をプリントする	126
ViewNX 2 を使う（パソコンに画像を取り込む）	128
ViewNX 2 をインストールする	128
パソコンに画像を取り込む	128
付録	130
取り扱い上のご注意	131
カメラについて	131
電池について	132
メモリーカードについて	133
お手入れ方法	134
クリーニングについて	134
保管について	134
警告メッセージ	135
故障かな？と思ったら	138
記録データのファイル名	144
別売アクセサリ	145
主な仕様	146
推奨メモリーカード	150
索引	152
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	156
アフターサービスについて	157

各部の名称

カメラ本体



1	ズームレバー 14 W : 広角ズーム 14 T : 望遠ズーム 14 ☒ : サムネイル表示 58 Q : 拡大 57 ? : ヘルプ 23	7 スピーカー
2	シャッターボタン 13	8 マイク (ステレオ)
3	ストラップ取り付け部 6	9 フラッシュ 11、43
4	電源スイッチ/ 電源ランプ 9	10 Nマーク (NFCアンテナ部) 117、119
5	(Wi-Fi) ボタン 117、119	11 (フラッシュポップアップ) ボタン 11、43
6	セルフタイマーランプ 45 AF補助光	12 サイドズームレバー 14
		13 (クイックバックズーム) ボタン 15
		14 レンズ

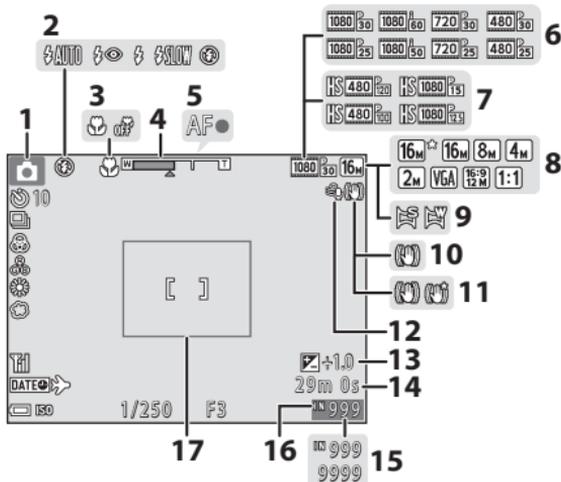


- | | | | |
|----------|---------------------------------------|-----------|-------------------------|
| 1 | 液晶モニター3、16 | 9 | 端子カバー120 |
| 2 | 📷 (撮影モード) ボタン
...22、23、32、34、38、41 | 10 | マルチセクター75 |
| 3 | フラッシュランプ44 | 11 | Ⓞ (決定) ボタン75 |
| 4 | ● (🎥 動画撮影) ボタン ...68 | 12 | 🗑 (削除) ボタン18 |
| 5 | ▶ (再生) ボタン17 | 13 | MENU (メニュー) ボタン...75 |
| 6 | DC入力端子 (別売ACアダプター接続用)145 | 14 | 電池/メモリーカードカバー
.....7 |
| 7 | HDMIマイクロ端子 (TypeD)120 | 15 | 三脚ネジ穴148 |
| 8 | USB/オーディオビデオ出力端子120 | | |

液晶モニターの表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]（[P.107](#)）→[モニター表示設定]→[情報オート]時）。

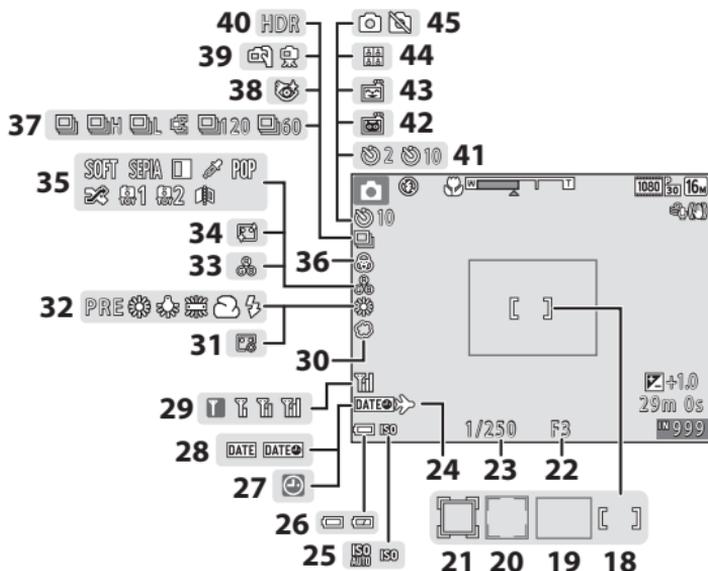
撮影モード



各部の名称

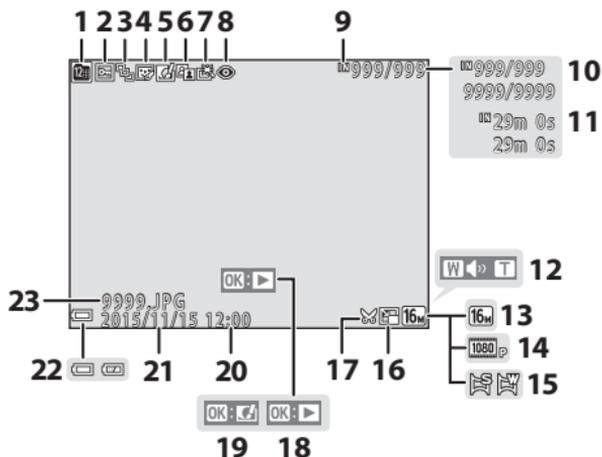
- 1 撮影モード 20、22、23、32、34、38、41
- 2 フラッシュモード 43
- 3 マクロモード 46
- 4 ズーム表示 14、46
- 5 AF表示 13
- 6 動画設定（通常速度の動画） 96
- 7 動画設定（HS動画） 97
- 8 画像モード 77
- 9 かんたんパノラマ 29

- 10 静止画手ブレ補正表示... 110
- 11 動画手ブレ補正表示 101
- 12 風切り音低減 101
- 13 露出補正值 34、42、47
- 14 記録可能時間（動画） 68
- 15 記録可能コマ数（静止画） 10
- 16 内蔵メモリー表示 10
- 17 フレーミング枠（シーンモードの[月]、[鳥]またはクイックバックズーム） 15、28



18	AFエリア (マニュアル、中央) 54、84	31	ファンデーション.....34
19	AFエリア (ターゲットファインドAF) 52、85	32	ホワイトバランス.....79
20	AFエリア (顔認識、ペット検出) 27、34、50、84	33	色合い.....42
21	AFエリア (ターゲット追尾) 85、86	34	美肌.....34
22	絞り値 16	35	スペシャルエフェクト 38
23	シャッタースピード 16	36	鮮やかさ 42
24	訪問先 105	37	連写モード 27、81
25	ISO感度表示 83	38	目つぶり軽減 89
26	電池残量表示 10	39	手持ち撮影/三脚撮影 24、25
27	日時未設定 139	40	逆光 (HDR) 26
28	日付写し込み 109	41	セルフタイマー 45
29	Wi-Fi通信表示 103、117	42	ペット自動シャッター 27
30	ソフト 34	43	笑顔自動シャッター 35
		44	セルフコラージュ 36、88
		45	動画撮影中の静止画記録 71

再生モード



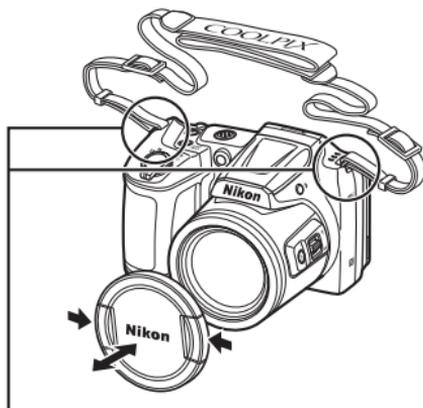
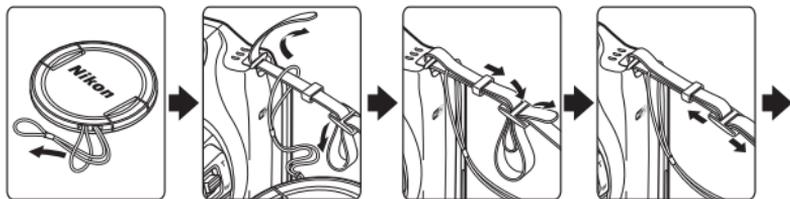
各部の名称

1	撮影日一覧表示.....	59	13	画像モード.....	77
2	プロテクト表示.....	92	14	動画設定.....	96
3	連写グループ表示 ([1枚ずつ] 設定時).....	94	15	かんたんパノラマ.....	31
4	メイクアップ効果済み表示	65	16	スモールピクチャー.....	66
5	クイックエフェクト済み 表示.....	62	17	トリミング済み表示	57、67
6	D-ライティング済み表示	64	18	かんたんパノラマ再生ガイド 連写グループ再生ガイド 動画再生ガイド	
7	簡単レタッチ済み表示.....	63	19	クイックエフェクト設定 ガイド	
8	赤目補正済み表示.....	64	20	撮影時刻	
9	内蔵メモリー表示		21	撮影日	
10	画像の番号/全画像数		22	電池残量表示.....	10
11	動画の再生時間		23	ファイル名.....	144
12	音量表示.....	72			

撮影の準備

ストラップとレンズキャップの取り付け方

レンズキャップをストラップに取り付けてから、ストラップをカメラに取り付けます。

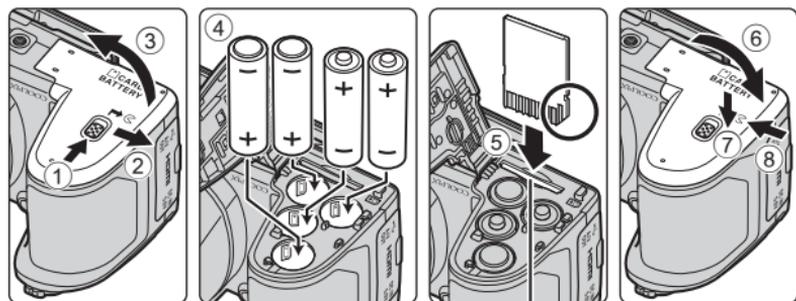


2カ所に取り付けます。

✓ レンズキャップについて

カメラを使わないときは、レンズキャップをレンズに取り付け、レンズを保護してください。

電池とメモリーカードを入れる



メモリーカードスロット

- 電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向け、電池の+と-を正しい向きで入れてください。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます(⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- カバーを閉じるときは、⑦の部分をしっかり押さえながら、スライドさせてください。

✓ メモリーカードの初期化について

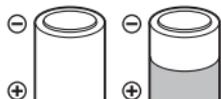
他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。メモリーカードをカメラに入れ、**MENU** ボタンを押し、セットアップメニュー(□75)の[カードの初期化]を選びます。

使用できる電池について

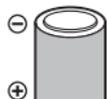
- アルカリ単3形電池 (LR6) (付属の電池) ×4本
 - リチウム単3形電池 (FR6/L91) ×4本
 - Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH2(ニッケル水素充電電池)×4本
- ※ Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

✓ 電池についてのご注意

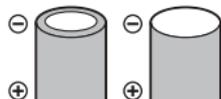
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 以下のような電池は使用しないでください。



外装シールの一部またはすべてがはがれている電池



マイナス電極の一部が突き出ている、外装シールが側面にしかない電池



マイナス電極が平らな電池

✓ Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2をお使いの方へのご注意

このカメラにEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください (□□132)。

🔪 アルカリ電池の性能について

アルカリ電池の性能は、メーカーによって大きく異なります。

電池やメモリーカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

メモリーカードと内蔵メモリーについて

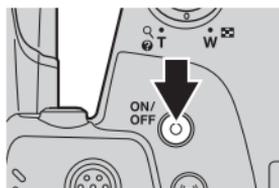
撮影したデータは、メモリーカードまたはカメラの内蔵メモリーのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、メモリーカードを取り出してください。

電源をONにして、表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 レンズキャップを外してから、電源スイッチを押して、電源をONにする

- 液晶モニターが点灯します。
- もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。



2 マルチセレクターの▲▼で表示言語を選び、OK ボタンを押す



3 [はい] を選び、OK ボタンを押す

4 自宅のある地域 (タイムゾーン) を選び、OK ボタンを押す

- ▲を押すと地図上部に📍が表示され、夏時間として設定されます。取り消すには▼を押します。



5 ▲▼で日付の表示順を選び、OK ボタンを押す

6 日時を合わせ、**OK** ボタンを押す

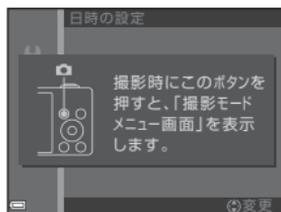
- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- [分] を選んで **OK** ボタンを押し、設定を確認します。



7 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

8 **カメラ** (撮影モード) ボタンを押す

- レンズが繰り出します。



9 [おまかせシーン] を選び、**OK** ボタンを押す



- 撮影画面になり、おまかせシーンモードで撮影できます。カメラが撮影シーンを自動的に判別します。
- 電池残量表示
 - ☐：電池残量があります。
 - 🔋：電池残量が少なくなりました。
- 記録可能コマ数
メモリーカードをカメラに入れていないときは、📄が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。



電池残量表示

記録可能コマ数

言語や日時の設定をやり直すときは

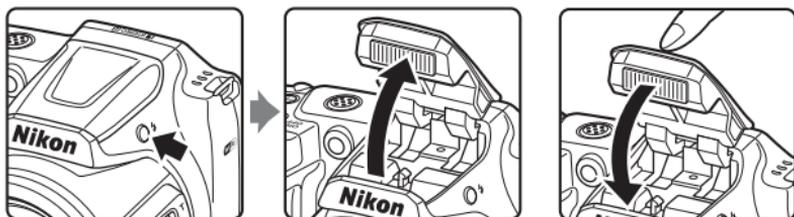
-  セットアップメニュー (□75) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
-  セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] でマルチセクターの ▶ を押し、▲ で夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、▼ でオフにすると1時間戻ります。

時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター (別売) を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください (□9)。

フラッシュのポップアップと収納

-  (フラッシュポップアップ) ボタンを押すと、フラッシュがポップアップします。
- フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

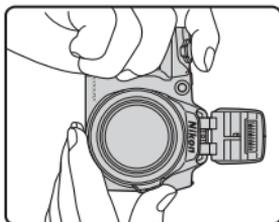
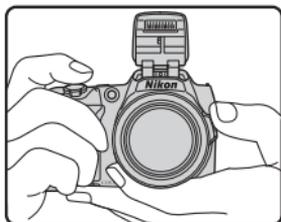


撮影と再生の基本操作

おまかせシーンモードで撮影する

1 カメラを構える

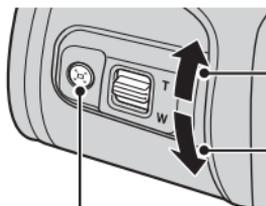
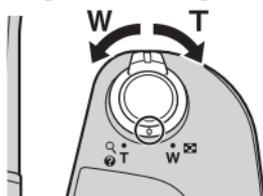
- レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。



2 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かします。
- 望遠側のズーム位置で被写体を見失ったときは、 (クイックバックズーム) ボタンを押すと、一時的に画角 (見える範囲) が広がり、被写体をとらえやすくなります。

広い範囲を
写す 大きく
写す



大きく写す

広い範囲を
写す

 (クイックバックズーム)
ボタン

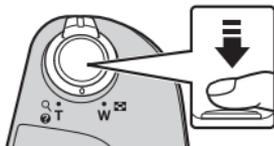
- カメラが撮影シーンを判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。

撮影モードアイコン



3 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- AFエリアまたはAF表示が点滅したときはピントが合っていない。構図を変えて半押しをやり直してください。



4 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する



✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

📎 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

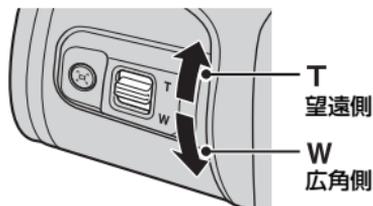
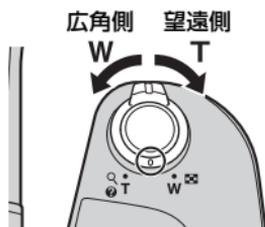
📎 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所でフラッシュを閉じているときや、フラッシュが発光しない撮影モードのとき
 - ズーム位置が望遠側のとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー（Q75）の【静止画手ブレ補正】を【しない】にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す：**T側**
- 広い範囲を写す：**W側**
電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速くなります（動画撮影中を除く）。
- サイドズームレバー（1）を**T**または**W**側に動かしても、ズームの操作ができます。



- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーまたはサイドズームレバーを**T**側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。

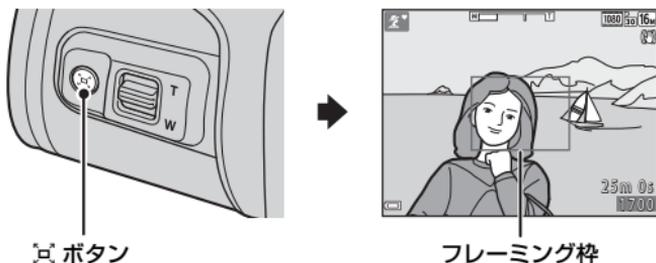
電子ズームについて

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。

クイックバックズームを使う

望遠側のズーム位置で被写体を見失ったときは、**QZ**（クイックバックズーム）ボタンを押すと、一時的に画角（見える範囲）が広がり、被写体をとらえやすくなります。



- **QZ** ボタンを押したまま、撮影画面のフレーミング枠内に被写体をとらえます。
- 画角をさらに変えたいときは、**QZ** ボタンを押したまま、ズームレバーを動かします。
- **QZ** ボタンを離すと、元のズーム位置に戻ります。

✓ クイックバックズームについてのご注意

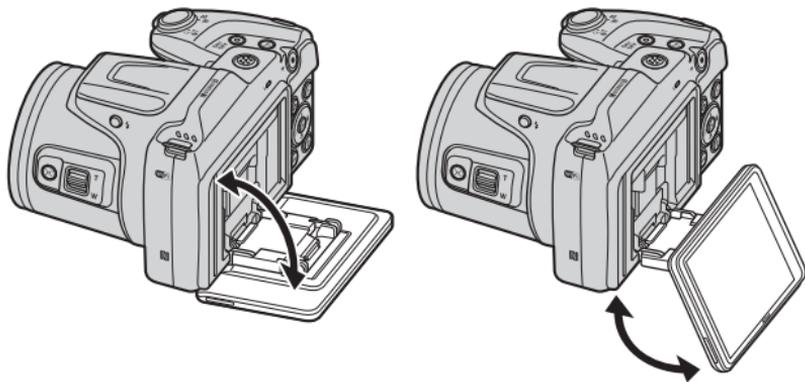
動画撮影中はクイックバックズームを使えません。

シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込む(全押しする)と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

液晶モニターの角度を変える

液晶モニターの角度は、下向きに約85°、上向きに約90°動かせます。カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するときなどに便利です。



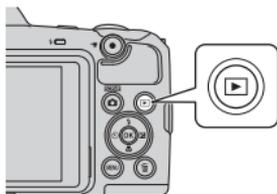
✓ 液晶モニターについてのご注意

- 液晶モニターの角度を変えるときは、無理な力を加えないでください。
- 液晶モニターは、左右方向には動かせません。
- 通常は、液晶モニターの位置を元に戻してお使いください。

画像を再生する

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

- 電源OFFの状態では▶ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- 撮影に戻るには、📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。
- 1コマ表示でOK:📷が表示されたときは、OKボタンを押すと画像に効果を付けられます。

前の画像を表示



次の画像を表示

- 1コマ表示でズームレバーをT(Q)側に動かすと、拡大表示されます。

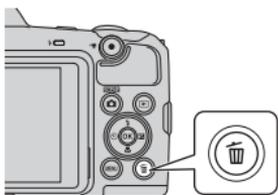


- 1コマ表示でズームレバーをW(Q)側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



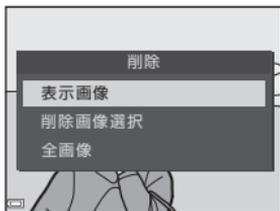
画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して **🗑** (削除) ボタンを押す



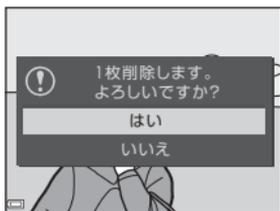
- 2 マルチセレクターの **▲▼** で削除方法を選び、**OK** ボタンを押す

- 削除をやめるには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 **[[はい]]** を選び、**OK** ボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。



✓ 連写した画像 (連写グループ) の削除について

- 連写した画像は「連写グループ」として保存され、再生すると1コマ目 (代表画像) のみを表示します (初期設定)。
- 代表画像の表示中に **🗑** ボタンを押すと、その連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、**OK** ボタンを押して1コマずつに展開表示してから **🗑** ボタンを押します。



🗑 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで **🗑** ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクトターの◀▶で削除したい画像を選び、▲で🗑️を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して🗑️を非表示にします。
- ズームレバー (📖1) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (📐) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに🗑️を表示し、OK ボタンを押して選択を決定する

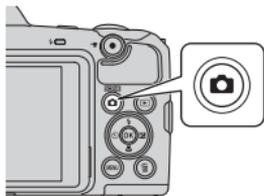
- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

撮影モードを変える

以下の撮影モードがあります。

- **おまかせシーン**
構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。
- **シーン**
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
- **SOFT スペシャルエフェクト**
画像に効果を付けて撮影できます。
- **ベストフェイス**
人物の顔をメイクアップ効果を付けて撮影できます。笑顔自動シャッターやセルフコラージュを使って撮影ができます。
- **ショートムービーショー**
数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービーショー（[1080/30p] または [1080/25p]）を作成します。
- **オート撮影**
基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

- 1 撮影画面で **カメラ**（撮影モード）ボタンを押す



- 2 マルチセレクターの **▲▼** で撮影モードを選び、**OK** ボタンを押す

- シーンモードまたはスペシャルエフェクトモードを選んだときは、**OK** ボタンを押す前に **▶** を押し、シーンまたは効果の種類を選びます。



フラッシュやセルフタイマーなどを使う

撮影画面でマルチセクターの▲ (⚡) ◀ (⌚) ▼ (🌸) ▶ (📷) を押すと、以下の機能を設定できます。



- ⚡ フラッシュモード
フラッシュのポップアップ時に、発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。
- ⌚ セルフタイマー
シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。
- 🌸 マクロモード
被写体に近づいて撮影するときに設定します。
- 📷 露出補正
画像全体の明るさを調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

動画を撮影する

撮影画面を表示し、● (🎥 動画撮影) ボタンを押すと撮影を開始します。終了するにはもう一度● (🎥) ボタンを押します。

- 再生するには、再生モードの1コマ表示で動画を選び、⏪ ボタンを押します。



いろいろな撮影

SCENE♥ (おまかせシーン) モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (おまかせシーン) モード → ボタン

シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。

	ポートレート (1~2人程度のアップ)
	ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	風景
	夜景ポートレート* (1~2人程度のアップ)
	夜景ポートレート* (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	夜景*
	クローズアップ
	逆光 (人物以外の撮影)
	逆光 (人物撮影)
	その他の撮影シーン

* スローシャッターで1コマ撮影します。

SCENE♥ (おまかせシーン) モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください (□20)。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はになります。

SCENE♥ (おまかせシーン) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (□43)
- セルフタイマー (□45)
- 露出補正 (□47)
- 画像モード (□77)

シーンモード(シーンに合わせて撮影する)

撮影シーンを選ばると、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (上から2番目のアイコン※) → → → シーンを選択する → ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート (初期設定)	夜景※ ^{1, 2} (□□25)
風景※ ^{1, 2}	クローズアップ (□□25)
スポーツ※ ² (□□24)	料理 (□□25)
夜景ポートレート (□□24)	打ち上げ花火※ ^{1, 3} (□□25)
パーティー※ ² (□□24)	逆光 (□□26)
ビーチ※ ²	かんたんパノラマ※ ² (□□29)
雪※ ²	ペット (□□27)
夕焼け※ ^{2, 3}	月 (□□28)※ ^{1, 2}
トワイライト※ ^{1, 2, 3}	鳥 (□□28)※ ^{1, 2}

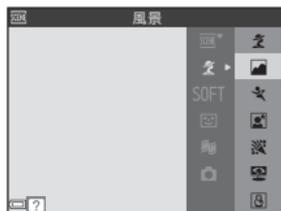
※1 ピントは遠景に合います。

※2 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(□□110)を「しない」にしてください。

各シーンの説明を見るには(ヘルプ表示)

シーンの種類を選び、ズームレバー (□□1) を T (🔍) 側に動かすと、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを T (🔍) 側に動かします。



ヒントとご注意

🌟 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約7.4コマ/秒の速さで約7コマまで連写できます（[画像モード]が[16M 4608×3456]のとき）。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されます。

📷 夜景ポートレート

- フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- 📷 [夜景ポートレート] を選ぶと表示される画面で、👤 [手持ち撮影] または 📷 [三脚撮影] を選びます。
- 📷 [手持ち撮影] (初期設定) :
 - 撮影画面の 📷 アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 連写している間、被写体が動くとき画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
- 📷 [三脚撮影] :
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (📷110) を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

🌟 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (📷110) を [しない] にしてください。

🌃 夜景

- 🌃 [夜景] を選ぶと表示される画面で、📷 [手持ち撮影] または 📷 [三脚撮影] を選びます。
- 📷 [手持ち撮影] (初期設定) :
 - 撮影画面の 📷 アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後、静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 📷 [三脚撮影] :
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (📷110) を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

🔍 クローズアップ

- マクロモード (📷46) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できます。📷 ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ で移動し、📷 ボタンで決定します。

🍴 料理

- マクロモード (📷46) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できます。📷 ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ で移動し、📷 ボタンで決定します。



🎆 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。

■ 逆光

-  [逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の [ON] / [OFF] を撮影シーンに合わせて選びます。
- [OFF]（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
 - フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
 - シャッターボタンを全押しすると、1コマ撮影します。
- [ON]：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の2コマを記録します。
 - HDR 合成していない画像
 - HDR 合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
 - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時に D-ライティング（64）で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

🐾 ペット

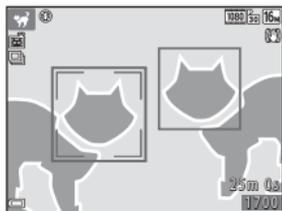
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、📷 [単写] または 📷 [連写] を選びます。
 - 📷 [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
 - 📷 [連写]：犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの ◀ (📷) を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - [📷]：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - [OFF]：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。[OFF] のときは、人物の顔も認識します。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。
 - 📷 [連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



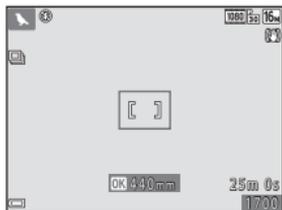
● 月

- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- 月の満ち欠けなどの撮影状況や撮影意図などに応じて、露出補正 (□47) で明るさを調節してください。
- 広角側のズーム位置では、855 mm 相当 (35mm 判換算) の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます。OK ボタンを押すと、撮影画角は855 mm 相当になります。



鳥

- 鳥 [鳥] を選ぶと表示される画面で、S [単写] または C [連写] を選びます。
- S [単写] : 1 コマずつ撮影します。
- C [連写] (初期設定) : シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
 - 連写速度は約 7.4 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 7 コマです (画像サイズが [16M 4608×3456] のとき)。
- 広角側のズーム位置では、440 mm 相当 (35mm 判換算) の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます。OK ボタンを押すと、撮影画角は 440 mm 相当になります。



かんたんパノラマの撮影方法

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (上から2番目のアイコン※) → → → (かんたんパノラマ) → ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

1 撮影する範囲を [標準] または [ワイド] から選び、 ボタンを押す

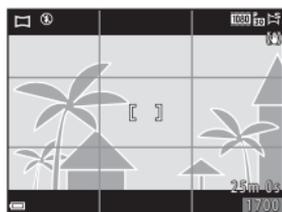
・ カメラを横位置で構えたときの画像サイズ (ヨコ×タテ) は、以下のとおりです。

- [標準]: 水平に移動時 4800×920、垂直に移動時 1536×4800
- [ワイド]: 水平に移動時 9600×920、垂直に移動時 1536×9600



2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ・ズーム位置は、広角側に固定されます。
- ・画面中央でピントが合います。



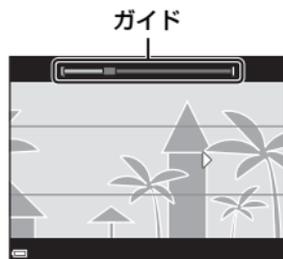
3 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- ・カメラを動かす方向を示す マークが表示されます。



4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
- ピントと露出は、撮影終了まで固定されません。



カメラの動かし方の例



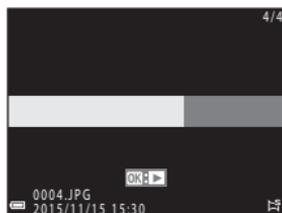
- 撮影者を軸にして、カメラをマーク（△▽◁▷）と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒（標準 [標準] 時）、または約30秒（ワイド [ワイド] 時）が経過すると撮影は終了します。

✔ かんたんパノラマ撮影時のご注意

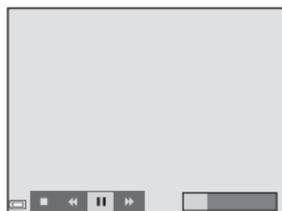
- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして（□17）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、OKボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。



再生中は、画面に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀	OKボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。	
早送り	▶	OKボタンを押している間、スクロールを早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。	
		◀	OKボタンを押している間、巻き戻しします。
		▶	OKボタンを押している間、スクロールします。
		▶	自動スクロールを再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

✓ かんたんパノラマ画像についてのご注意

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

✓ パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → SOFT（上から3番目のアイコン*） →  →  →  → 効果を選択する →  ボタン

※ 前回選んだ効果のアイコンが表示されます。

種類	内容
SOFT ソフト*（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア*	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気になります。
 硬調モノクローム*	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
 セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気になります。
 クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
 トイカメラ風 1*	画像全体を黄色がかかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
 トイカメラ風 2*	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。
 ミラー*	画像中心から左半分を反転して、左右対称な写真にします。

※ 選べない [動画設定] (96) があります。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、マルチセレクターの▲▼で色を選び、OK ボタンで決定します。色を選び直すには、もう一度OK ボタンを押します。



ベストフェイスモード（顔をよりきれいに撮影する）

人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → ベストフェイスモード → ボタン

1 マルチセレクターの▶を押す



2 効果を付ける

- ◀▶で効果を選びます。
- ▲▼で効果の度合いを調節します。
- 同時に複数の効果が付けられます。
 [美肌]、 [ファンデーション]、 [ソフト]、 [鮮やかさ]、 [明るさ（露出補正）]
- スライダーを非表示にするには、 [終了] を選びます。
- すべての効果を確認したら、 ボタンを押します。



3 構図を決め、シャッターボタンを押す

ベストフェイスモードについてのご注意

- 撮影画面の画像と保存した画像では、効果の度合いが異なる場合があります。
- [ソフト] を設定すると、選べない [動画設定] (☞96) があります。

ベストフェイスモードで設定できる機能

- メイクアップ効果 (☞34)
- 笑顔自動シャッター (☞35)
- セルフカラーージュ (☞36)
- フラッシュモード (☞43)
- セルフタイマー (☞45)
- ベストフェイスメニュー (☞88)

笑顔自動シャッターを使う

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  ベストフェイスモード →  ボタン

マルチセレクターの  を押し、 [笑顔自動シャッター] を選んで  ボタンを押すと、カメラが人物の笑顔を検出するたびに、自動でシャッターがきれます。

- メイクアップ効果は、笑顔自動シャッターよりも先に設定してください (□34)。
- シャッターボタンを押して撮影すると、笑顔自動シャッターが終了します。



笑顔自動シャッターについてのご注意

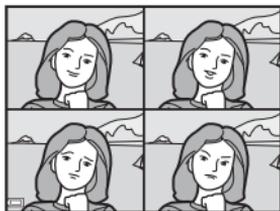
撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります (□50)。シャッターボタンを押しても撮影できます。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

セルフコラージュを使う

4回または9回のインターバル撮影をした画像を1コマの画像として記録できます（コラージュ画像）。



撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → ベストフェイスモード → ボタン

1 マルチセレクターの◀を押し、 [セルフコラージュ] を選んで ボタンを押す



- 確認画面が表示されます。
- ◀を押す前に、MENU ボタンを押して [セルフコラージュ] を選択すると、[撮影回数]、[撮影間隔]、[シャッター音の設定] が設定できます（[□□88](#)）。
- メイクアップ効果を付けて撮影する場合は、先に設定してください（[□□34](#)）。



2 撮影をする

- シャッターボタンを押すと、カウントダウン（約5秒）が始まり、自動的にシャッターがきれます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。撮影の約3秒前になると、カウントダウンが始まります。
- 画面に撮影する回数分の ○ が表示されます。撮影中は緑色で表示され、撮影後は白色になります。
- 設定回数の撮影が終わると、コラージュ画像が保存されます。
- 撮影した画像はコラージュ画像とは別に1コマずつ保存されます。1コマ画像は連写グループとして扱われ、コラージュ画像が代表画像となります（[□□60](#)）。



セルフコラージュについてのご注意

- 設定した回数の撮影が終わる前にシャッターボタンを押すと、撮影が中断されコラージュ画像は保存されません。中断前に撮影した1コマ画像は保存されます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (P55)

ショートムービーショーモード（つなげて作る短編動画）

数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービーショー（[1080p] 1080/30p）または [1080p] 1080/25p）を作成します。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → ショートムービーショーモード → ボタン

1 MENU（メニュー）ボタンを押し、撮影の設定をする

- [撮影回数]：動画（素材）の記録時間と撮影回数の組み合わせを選びます。初期設定では、2秒間の素材を15回撮影し、30秒間の動画を作成します。
- [スペシャルエフェクト]（32）：さまざまな効果をつけて撮影できます。効果は素材ごとに変更できます。
- [BGM]：バックグラウンドミュージックを選びます。ズームレバー（1）をT（Q）側に動かすと、試聴できます。
- 設定が終了したら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を終了してください。



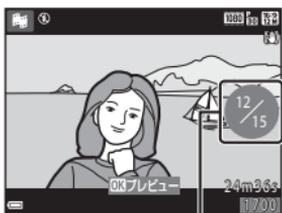
2 ●（ 動画撮影）ボタンを押して、素材を撮影する

- 手順1で設定した素材の記録時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。
- 一連の撮影は、一時的に中断できます。→「撮影の中断について」（40）



3 撮影した素材を確認、または削除する

- 確認するには、 ボタンを押します。
- 削除するには、 ボタンを押します。直前に撮影した素材、またはすべての素材を削除できます。
- 素材の撮影を続けるには、手順2の操作を繰り返します。
- 効果を変更するには、手順1に戻ります。



撮影回数

4 ショートムービーショーを保存する

- 設定した回数の素材を撮影し終わると、ショートムービーショーが保存されます。
- 設定した回数の撮影を終える前にショートムービーショーを保存するには、撮影待機画面でMENUボタンを押し、[撮影終了]を選びます。
- 保存すると、素材は削除されます。

素材確認中の操作

音量を調整するには、再生中にズームレバー(📖1)を動かします。

画面に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



操作パネル

機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀◀	OKボタンを押している間、巻き戻しします。
早送り	▶▶	OKボタンを押している間、早送りします。
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		◀◀ コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶▶ コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
	▶▶▶ 再生を再開します。	
再生終了	■	撮影の待機画面に戻ります。
撮影終了	📷	撮影済みの素材でショートムービーショーを保存します。

✓ 撮影時のご注意

- メモリーカードを入れていないと、撮影できません。
- ショートムービーショーを保存するまでは、メモリーカードを交換しないでください。



撮影の中断について

- 待機画面でシャッターボタンを押すと、静止画（[[設定] 4608x2592]）を撮影できます。
- 撮影を中断して、他のモードに切り換えて撮影や再生ができます。再度ショートムービーショーモードを選ぶと、素材の撮影を再開できます。

ショートムービーショーモードで設定できる機能

- セルフタイマー（[[45]）
- マクロモード（[[46]）
- 露出補正（[[47]）
- ショートムービーショーメニュー（[[38]）
- 動画メニュー（[[96]）

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 📷 (オート撮影) モード → Ⓜ ボタン

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択] (📖84) の設定によって異なります。初期設定は、[ターゲットファインドAF] (📖52) です。

📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- クリエイティブスライダー (📖42)
- フラッシュモード (📖43)
- セルフタイマー (📖45)
- マクロモード (📖46)
- 撮影メニュー (📖77)

クリエイティブスライダーを使う

明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いを調節して撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （オート撮影）モード → ボタン

1 マルチセレクターの▶を押す



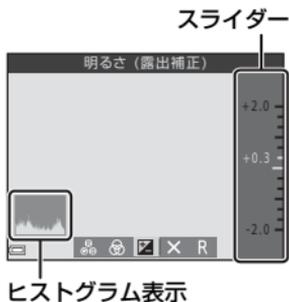
2 ◀▶で項目を選ぶ

- [色合い]：画像全体の色合い（赤み/青み）を調節します。
- [鮮やかさ]：画像全体の鮮やかさを調節します。
- [明るさ（露出補正）]：画像全体の明るさを調節します。



3 ▲▼で調節する

- 画面で調節の度合いを確認できます。
- 他の項目を設定するには、手順2に戻ります。
- スライダーを非表示にするには、 [終了] を選びます。
- すべての設定を取り消すには、 [リセット] を選び ボタンを押します。手順2からやり直してください。



4 設定が終了したら、 ボタンを押す

- 設定が反映され、撮影画面に戻ります。

クリエイティブスライダーの設定について

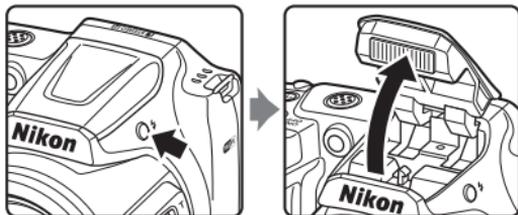
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（[Q55](#)）。
- 明るさ（露出補正）、鮮やかさ、および色合いの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- ヒストグラム表示について → [Q47](#)

フラッシュモード

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 ⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押す

- フラッシュがポップアップします。
- フラッシュを閉じているときは発光しません。発光禁止を示す🚫が画面に表示されます。



2 マルチセレクターの▲（⚡）を押す



3 フラッシュモード（📖44）を選び、**OK**ボタンを押す

- **OK** ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

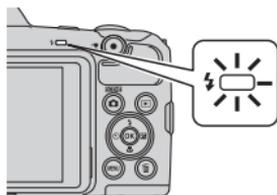


✓ フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げ、閉じてください（📖11）。

フラッシュランプについて

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。
 - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
 - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
 - 消灯：発光しません。
- 電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。



フラッシュモードの種類

AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

強制発光

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（[Q48](#)）。
- （オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(P110)を「しない」にしてください。

1 マルチセレクターの◀ (☺) を押す



2 [☺10s] または [☺2s] を選び、OK ボタンを押す

- [☺10s] (10秒) : 記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2秒) : 手ブレの軽減に適しています。
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの「ペット」のときは、 (ペット自動シャッター) が表示されます (P27)。セルフタイマーは使えません。
- 撮影モードがベストフェイスモードのときは、セルフタイマー以外に 「笑顔自動シャッター」(P35) や 「セルフコラージュ」(P36) も使えます。

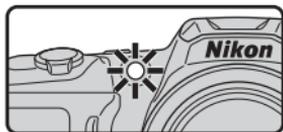


3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは「OFF」になります。*
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



* 撮影モードがシーンモードの「月」のときは、自動で「OFF」にはなりません。セルフタイマーを終了するには、手順2で「OFF」を選んでください。

マクロモード（接写する）

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

1 マルチセレクターの▼（👇）を押す



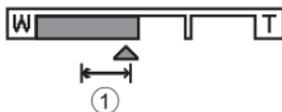
2 [ON] を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームレバーを動かし、👁️マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- 広角側のズーム位置および ① のズーム範囲では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。



✓ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

📎 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（📖48）。
- 📷（オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正（明るさを調節する）

画面全体の明るさを調節できます。

1 マルチセレクターの▶ (☒) を押す



2 補正值を選び、OKボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- OKボタンを押さなくても、補正值が設定されます。
- 撮影モードがベストフェイスモードのときは、メイクアップ効果が表示されます (☐34)。
- 撮影モードが (オート撮影) モードのときは、クリエイティブスライダーが表示されます (☐42)。



ヒストグラム表示

📎 露出補正の設定について

撮影モードによっては、設定できないことがあります (☐48)。

📎 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。

フラッシュやセルフタイマーなどの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ ※1 (□43)	セルフ タイマー (□45)	マクロ (□46)	露出補正 (□47)
📷* (おまかせシーン)	📷AUTO※2	OFF	OFF※3	0.0
シーン				
👤 (ポートレート)	📷👤	OFF	OFF※4	0.0
🏞️ (風景)	📷🏞️※4	OFF	OFF※4	0.0
🏃 (スポーツ)	📷🏃※4	OFF※4	OFF※4	0.0
🌃 (夜景ポートレート)	📷🌃※5	OFF	OFF※4	0.0
🎉 (パーティー)	📷🎉※6	OFF	OFF※4	0.0
🏖️ (ビーチ)	📷AUTO	OFF	OFF※4	0.0
❄️ (雪)	📷AUTO	OFF	OFF※4	0.0
🔥 (夕焼け)	📷🔥※4	OFF	OFF※4	0.0
🌆 (トワイライト)	📷🌆※4	OFF	OFF※4	0.0
🌃 (夜景)	📷🌃※4	OFF	OFF※4	0.0
👁️ (クローズアップ)	📷👁️	OFF	ON※4	0.0
🍴 (料理)	📷🍴※4	OFF	ON※4	0.0
💣 (打ち上げ花火)	📷💣※4	OFF※4	OFF※4	0.0※4
🌑 (逆光)	📷🌑※7	OFF	OFF※4	0.0
📷 (かんたんパノラマ)	📷📷※4	OFF※4	OFF※4	0.0
🐾 (ペット)	📷🐾※4	📷🐾※8	OFF	0.0
🌕 (月)	📷🌕※4	🕒2s	OFF※4	0.0
🐦 (鳥)	📷🐦※4	OFF	OFF	0.0
SOFT (スペシャル エフェクト)	📷	OFF	OFF	0.0
😊 (ベストフェイス)	📷AUTO※9	OFF※10	OFF※4	_ ※11
🎬 (ショートムービー ショー)	📷🎬※4	OFF	OFF	0.0
📷 (オート撮影)	📷AUTO	OFF	OFF	_ ※12

- ※1 フラッシュをポップアップしているときの設定です。
- ※2 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。
 ④（発光禁止）に変更できます。
- ※3 変更できません。📷に判別されるとマクロモードになります。
- ※4 変更できません。
- ※5 変更できません。[手持ち撮影] のときは赤目軽減スローシンクロで自動発光します。[三脚撮影] のときは赤目軽減スローシンクロで強制発光します。
- ※6 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※7 [HDR] が [OFF] のときは👇（強制発光）に固定されます。[HDR] が [ON] のときはフラッシュは発光しません。
- ※8 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（📷27）の ON/OFF を設定できます。
- ※9 [目つぶり軽減] が [する] のときは使えません。
- ※10 セルフタイマー以外に📷 [笑顔自動シャッター]（📷35）や📷 [セルフコラージュ]（📷36）も使えます。
- ※11 メイクアップ効果が表示されます（📷34）。
- ※12 クリエイティブスライダーが表示されます（📷42）。

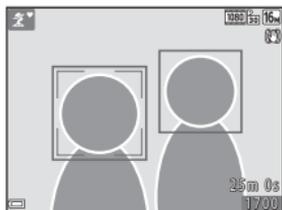
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

顔認識撮影について

以下の撮影モードや設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- **SCN**（おまかせシーン）モード（[☞22](#)）
- シーンモード（[☞23](#)）の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード（[☞34](#)）
- **📷**（オート撮影）モード（[☞41](#)）で [AFエリア選択]（[☞84](#)）を [顔認識オート] に設定時



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

- **SCN**（おまかせシーン）モードでは、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート]、またはベストフェイスモードでは、画面中央にピントが合います。
- **📷**（オート撮影）モードでは、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

✓ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード (□□34)
 - [美肌] で効果の度合いを設定できます。
 -  (おまかせシーン) モード (□□22)
 - シーンモード (□□23) の [ポートレート] または [夜景ポートレート]
- 撮影後にも、記録した画像に [メイクアップ効果] で [美肌] などの編集ができます (□□65)。

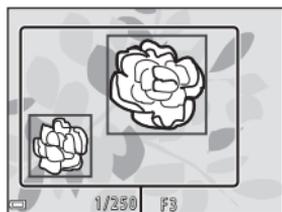
美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなる場合があります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

ターゲットファインドAFについて

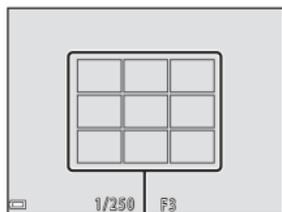
☑ (オート撮影) モードの [AFエリア選択] (☐84) が [ターゲットファインドAF] のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。



AF エリア

☑ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス] の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。

また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□54）をお試しください。

フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

- 1  (オート撮影) モードで [AFエリア選択] を [中央] に設定する (☞84)

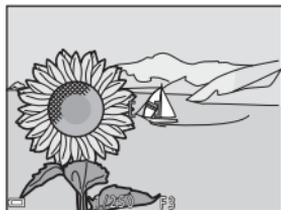
- 2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



- 3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



- 4 シャッターボタンを全押しして撮影する



撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (☐81)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (☐89)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	AFエリア選択 (☐84)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (☐84)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写 (☐81)	連写の設定によって、[画像モード] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] 時： 2M (画像サイズ：1600×1200ピクセル) • [高速連写 120 fps] 時： VGA (画像サイズ：640×480ピクセル) • [高速連写 60 fps] 時： 1M (画像サイズ：1280×960ピクセル)
ホワイトバランス	クリエイティブスライダの色合い (☐42)	クリエイティブスライダで色合いを調節すると、撮影メニューの [ホワイトバランス] は設定できません。[ホワイトバランス] を設定するときは、クリエイティブスライダの設定画面で R を選び、いったん明るさ、鮮やかさ、色合いの設定をリセットしてください。
連写	セルフタイマー (☐45)	[先取り撮影] に設定時、セルフタイマーにすると、[単写] に固定されます。
ISO感度設定	連写 (☐81)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] にすると、[ISO感度設定] は [オート] に固定されます。

制限される機能	設定	内容
AFエリア選択	ホワイトバランス (☞79)	[ターゲットファインドAF] 時、[ホワイトバランス] を [オート] 以外にすると、主要被写体は検出しません。
目つぶり軽減	セルフコラージュ (☞36)	[セルフコラージュ] にすると [目つぶり軽減] は動作しません。
日付写し込み	連写 (☞81)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] にすると、日時を写し込めません。
電子ズーム	AFエリア選択 (☞84)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写 (☞81)	[単写] 以外にすると、シャッター音は鳴りません。

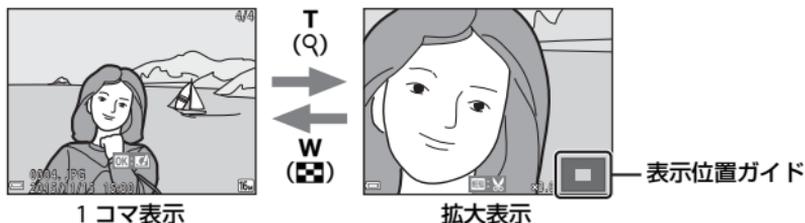
電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません (☞111)。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示（17）でズームレバーを**T**（拡大表示）側に動かすと、拡大表示されます。



- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W** ）/**T**（）を動かします。
- 表示位置を移動するには、マルチセクターの▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中に**OK**ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。



画像をトリミングするには

拡大表示中に**MENU**ボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます（67）。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示 (□□17) でズームレバーを**W** (☒サムネイル表示) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



- 表示コマ数は、ズームレバー (W (☒) / T (Q)) で変更できます。
- サムネイル表示でマルチセクターの▲▼◀▶を押して、画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で▲▼◀▶を押して、日付を選んでOKボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2015年1月1日」の画像として扱われます。

撮影日一覧モード

▶ ボタンを押す（再生モード） → ▶ ボタン → 撮影日一覧 → OK ボタン

マルチセレクトの▲▼で日付を選び、OK ボタンを押すと、選んだ撮影日の画像を再生します。

• 選んだ撮影日の画像を対象に、再生メニュー（□90）の機能が使えます（[画像コピー]を除く）。

• 撮影日の選択画面では、以下の操作ができます。

- MENU ボタン：以下の機能が使えます。

- スライドショー
- プロテクト設定*

※ 選んだ撮影日の画像をすべて同じ設定にできます。

- 削除ボタン：選んだ撮影日の画像を、すべて削除します。

撮影日一覧		
	2015/11/20	[3]
	2015/11/15	[1]
	2015/11/05	[2]
	2015/11/04	[10]

✓ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は、最新の撮影日から過去29日分までです。それ以前の画像は、[過去画像]に分類されます。
- 表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2015年1月1日」の画像として扱われます。

連写した画像(連写グループ)の再生と削除

連写グループの再生方法

連写した画像やセルフコラージュで撮影した画像は「連写グループ」として保存されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマ目を代表画像として表示します。セルフコラージュで撮影した画像の場合は、コラージュ画像を代表画像として表示します。

グループ内の画像を1コマずつ表示するには、**OK** ボタンを押します。

OK ボタンを押した後の操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、マルチセレクターの◀▶を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、▲を押し、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生したいときは、再生メニュー「**連写グループ表示方法**」を「**1枚ずつ**」にしてください(□94)。



✓ 連写グループの表示方法について

このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

📎 連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中に **MENU** ボタンを押すと、再生メニュー(□90)の機能が選べます。
- 代表画像で **MENU** ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
 - Wi-Fi送信画像の指定、プロテクト設定、画像コピー

連写グループの画像を削除する

連写グループでは、 (削除) ボタンを押すと、表示している画像によって削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
 - [表示画像]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]：削除画像の選択画面 (19) で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
 - [全画像]：メモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中：
 - [表示画像]：表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]：グループ内の画像を選択して削除します。
 - [表示グループ]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。



画像編集の制限

- 画像は10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。

クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）

画像を加工して、さまざまな効果を付けます。

[絵画調]、[フォトイラスト]、[ソフトポートレート]、[背景モノクロポートレート]、[魚眼効果]、[クロススクリーン]、[ミニチュア効果] から選べます。

- 1 効果を付けたい画像を1コマ表示して、**OK** ボタンを押す



- 2 マルチセレクターの▲▼◀▶で効果を選び、**OK** ボタンを押す

- ズームレバー（**Q**）を **T** (**Q**) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (**Q**) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

▶ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENUボタン → 簡単レタッチ → OKボタン

マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、OKボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀を押します。



D-ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する)

▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → D-ライティング → OK ボタン

マルチセクターの▲▼で [実行] を選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、[キャンセル] を選び、OK ボタンを押します。



赤目補正 (フラッシュ撮影による赤目を補正する)

▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → 赤目補正 → OK ボタン

効果を確認し、OK ボタンを押す

- 中止するときは、マルチセクターの◀を押します。



✔ 赤目補正についてのご注意

- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ペット (犬または猫) の場合、目の色が赤以外の場合でも補正されます。
- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン →
メイクアップ効果 → OK ボタン

1 マルチセレクトターの▲▼◀▶で編集する人物を選び、OK ボタンを押す

- 検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでください。



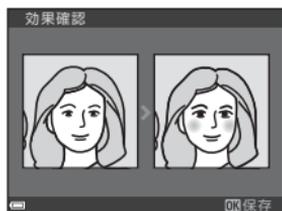
2 ◀▶で効果の種類を、▲▼で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- 同時に複数の効果を付けられます。
OK ボタンを押す前に、すべての効果を設定または確認してください。
- ☺ [小顔]、☺ [美肌]、☺ [ファンデーション]、☺ [テカリ軽減]、☺ [クマ軽減]、☺ [ビッグアイ]、☺ [ホホワイトアイ]、☺ [アイシャドウ]、☺ [マスカラ]、☺ [歯のホワイトニング]、☺ [リップカラー]、☺ [チーク]
- 人物の選択画面に戻るには、MENU ボタンを押します。



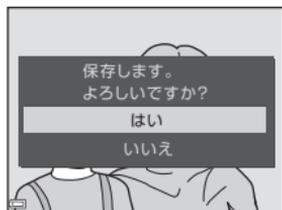
3 効果を確認し、OK ボタンを押す

- 設定をやり直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、MENU ボタンを押します。



4 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



✓メイクアップ効果についてのご注意

- 一回で編集できる顔は1人です。別の顔にメイクアップ効果をつけるには、編集済み画像を再編集します。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- ISO感度が1600以下の条件で撮影した画像、および画像サイズが640×480以上の画像のみ、メイクアップ効果の編集ができます。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ボタンを押す(再生モード) → 画像を選ぶ → MENUボタン → スモールピクチャー → OKボタン

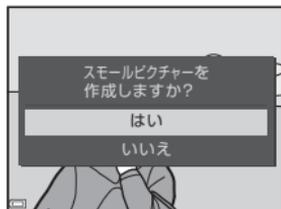
1 マルチセクターの▲▼でスモールピクチャーのサイズを選び、OKボタンを押す

- [📷] 4608×2592 の画像は [640×360]、
[📷] 3456×3456 の画像は [480×480]
のみ表示されます。



2 [はい] を選び、OKボタンを押す

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/8）。



トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（☞57）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENU（メニュー）ボタンを押す

- ・ズームレバーを**T**（Q）または**W**（）側に動かして拡大率を調節します。MENU：が表示される拡大率にしてください。
- ・マルチセレクターの▲▼◀▶で表示範囲を移動します。



3 トリミング範囲を確認し、OK ボタンを押す

- ・範囲を設定し直すときは、◀を押します。



4 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- ・編集画像が作成されます。



画像サイズについて

- ・トリミング後のアスペクト比（横：縦）は、元画像と同じです。
- ・トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で画像が小さく表示されます。

動画の撮影と再生

1 撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します。



動画の記録可能時間

2 フラッシュを閉じる (11)

- フラッシュを開いていると録音の妨げになる場合があります。

3 ● (動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。
- マルチセレクターの ▶ を押すと撮影を一時停止し、もう一度 ▶ を押すと撮影を再開します ([動画設定] をHS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。

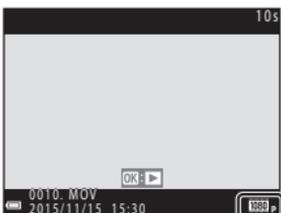


- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます (71)。

4 ● (動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

5 再生モードの1コマ表示で動画を選び、OKボタンを押して再生する

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。



動画設定

動画の写る範囲

- 動画の写る範囲は、動画メニューの[**動画設定**]によって異なります。
- セットアップメニューの[**モニター設定**] (□□107) の[**モニター表示設定**]で[**動画枠+情報オート**]にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。

動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって異なることがあります。
- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします (□□150)。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数 (🕒10s) が画面に表示されます。自動終了後、電源がOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画撮影についてのご注意

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

✓ 記録した動画についてのご注意

- 内蔵メモリーを使うと、動画の記録に時間がかかることがあります。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさの変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

- 動画メニューの[動画手ブレ補正]（□□101）を[する（ハイブリッド）]に設定すると、動画撮影時に画角（写る範囲）が狭くなります。
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐため、[動画手ブレ補正]を[しない]に設定してください。

✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（□□53）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの[AFモード]を[シングルAF]（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（*動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面に📷が表示されているときに記録できます。表示が📷のときは記録できません。
- 記録される画像サイズは、[動画設定] (📖96) によって異なります。

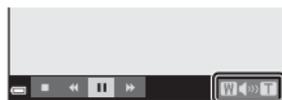


✓ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
 - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
 - [動画設定] が [1080i 1080/60i]、[1080i 1080/50i]、[480p 480/30p]、[480p 480/25p] またはHS動画の場合
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

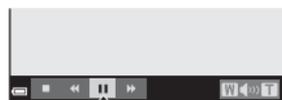
動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー (□1) を動かします。



音量表示

画面に操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、ⓧ
ボタンを押すと以下の操作ができます。



一時停止時

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀	ⓧ ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶	ⓧ ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。	
		◀	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
		📄	撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
		📄	撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。
▶	再生を再開します。		
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

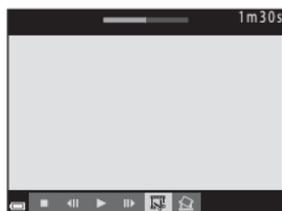
動画の編集

動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する
(☐72)

2 マルチセクターの◀▶で操作パネルの🎞️を選び、OKボタンを押す



3 ▲▼で編集操作パネルの🕒 (始点の設定) を選ぶ

- ◀▶で始点を調節します。
- 編集を中止するには、↶ (戻る) を選び、OKボタンを押します。



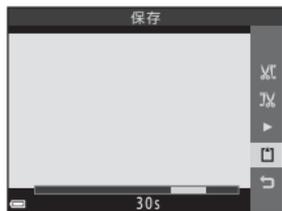
4 ▲▼で🕒 (終点の設定) を選ぶ

- ◀▶で終点を調節します。
- 設定した範囲をプレビューするには、▶️を選び、OKボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度OKボタンを押します。



5 ▲▼で□(保存)を選び、OKボタンを押す

- 画面に従って保存します。



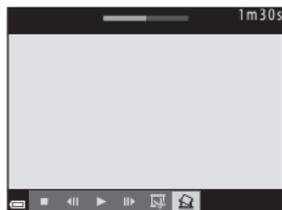
✓ 動画編集についてのご注意

- 編集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示がのときは、動画編集の操作はできません。
- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

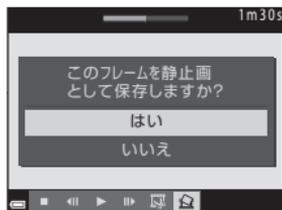
動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します (□72)。
- マルチセレクターの◀ ▶ で操作パネルのを選び、OKボタンを押します。



- 確認画面で「はい」を選び、OKボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は標準（圧縮率約1/8）です。画像サイズは元の動画の種類（画像サイズ）(□96)によって異なります。例えば、 **1080/30p** または  **1080/25p** で撮影した動画から保存した静止画は、 (1920×1080ピクセル) になります。



✓ 静止画保存についてのご注意

 **1080/60i**、 **1080/50i** またはHS動画で撮影した動画は静止画保存ができません (□96)。

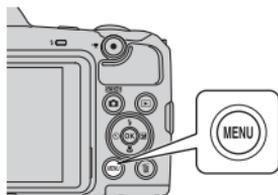
メニューを使う

MENU（メニュー）ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- **撮影メニュー**
撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
画像サイズと画質の組み合わせや、連続撮影の設定などを変更できます。
- **再生メニュー**
1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと設定できます。
画像の編集や、スライドショーの再生などができます。
- **動画メニュー**
撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
動画撮影についての設定ができます。
- **Wi-Fi設定メニュー**
カメラとスマートデバイスを接続する設定ができます。
- **セットアップメニュー**
日時や表示言語など、カメラに関する基本的な設定ができます。

1 MENU（メニュー）ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの ◀ を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニュー切り換えアイコン

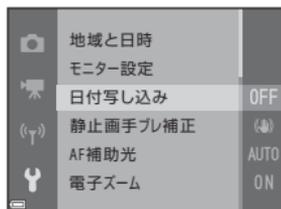
3 メニューアイコンを選び、**OK**ボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。



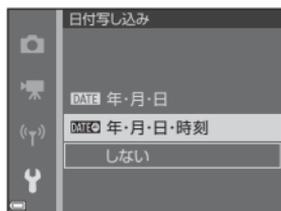
4 メニュー項目を選び、**OK**ボタンを押す

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。



5 設定内容を選び、**OK**ボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、**MENU** ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタン、 ボタンまたは ● (●) ボタンを押してください。



撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)

画像モード (画像サイズ/画質)

撮影画面にする※ → MENUボタン → 画像モード → **📷**ボタン

※ オート撮影モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます。

記録する画像サイズ (画像の大きさ) と画質 (画像の圧縮率) の組み合わせを選びます。

画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低いほど高画質になりますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	圧縮率	アスペクト比 (横:縦)
16M* 4608×3456★	約1/4	4:3
16M 4608×3456 (初期設定)	約1/8	4:3
8M 3264×2448	約1/8	4:3
4M 2272×1704	約1/8	4:3
2M 1600×1200	約1/8	4:3
VGA 640×480	約1/8	4:3
19M 4608×2592	約1/8	16:9
1:1 3456×3456	約1/8	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例: **16M** 4608×3456: 約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

プリンターの設定を「フチあり」にしてください。プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

画像モードについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□55)。

記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます (□□10)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

ホワイトバランス（色合いの調節）

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （オート撮影）モード → ボタン → MENUボタン → ホワイトバランス → ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。
PRE プリセットマニュアル	[オート] や [電球] などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います（□□80）。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスについてのご注意

- [オート]、[フラッシュ] 以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを閉じてください（□□11）。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□□55）。

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 マルチセレクターの▲▼で [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選び、**OK** ボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。



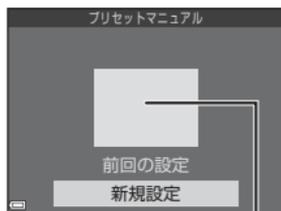
3 [新規設定] を選ぶ

- 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定] を選んで**OK** ボタンを押します。



4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収め、**OK** ボタンを押して測定する

- シャッターがきかれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。



測定窓

✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。

連写

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン → MENU ボタン → 連写 →  ボタン

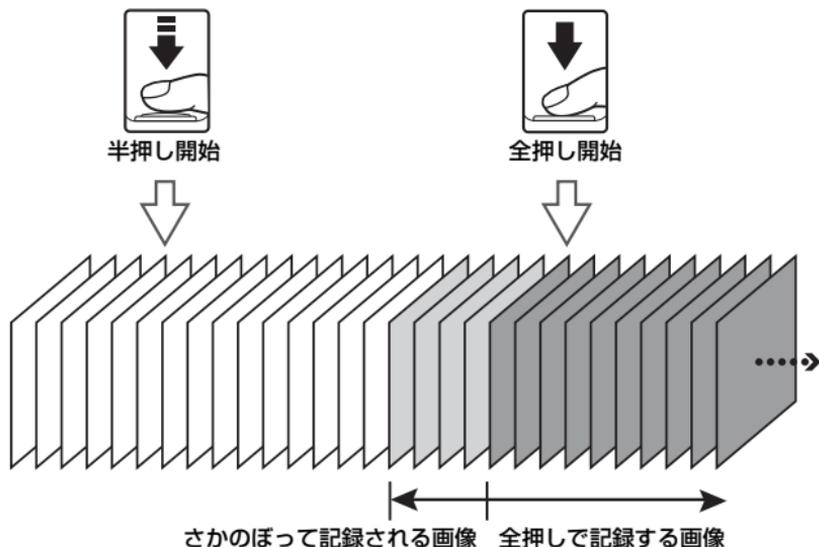
項目	内容
 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
 連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 連写速度は約7.4コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約7コマです (画像モード [] 4608×3456) 時)。
 連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 連写速度は約2コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約7コマです (画像モード [] 4608×3456) 時)。
 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します ()。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 • 連写速度は約15コマ/秒、連続撮影可能コマ数は25コマ (先取り撮影の最大4コマを含む) です。 • [画像モード] は  (画像サイズ: 1600×1200 ピクセル) に固定されます。
 120 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 連写速度は約120コマ/秒、連続撮影可能コマ数は50コマです。 • [画像モード] は  (画像サイズ: 640×480 ピクセル) に固定されます。
 60 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 連写速度は約60コマ/秒、連続撮影可能コマ数は25コマです。 • [画像モード] は  (画像サイズ: 1280×960 ピクセル) に固定されます。

✓ 連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- [先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□55)。

📎 先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン (📷) が緑色に変わります。

ISO感度設定

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン → MENU ボタン → ISO感度設定 →  ボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	ISO 125～1600の範囲で自動設定します。
 感度制限オート	自動設定範囲を [ISO 125-400]、[ISO 125-800] から選べます。
125、200、400、800、1600、3200、6400	ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度設定についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□55)。

撮影画面のISO感度表示について

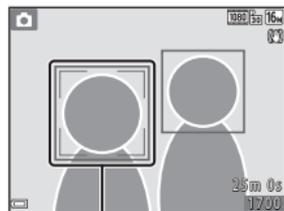
- [オート] 時は、感度が上がったときに **ISO** が表示されます。
- [感度制限オート] 時は、感度の上限値が表示されます。

AFエリア選択

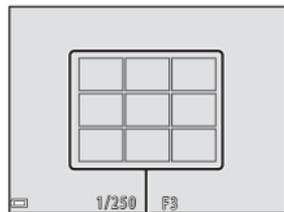
撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (オート撮影) モード → ボタン → MENU ボタン → AFエリア選択 → ボタン

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

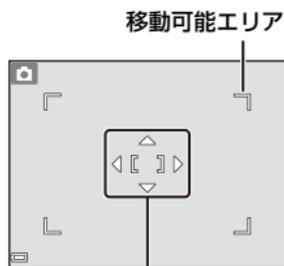
項目	内容
顔認識オート	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合いません。 →「顔認識撮影について」(☞50)</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。</p>
マニュアル	<p>マルチセレクターの▲▼◀▶で、AFエリアを、ピントを合わせたい位置に移動できます。</p> <p>• マルチセレクターでフラッシュモードなどを設定したいときは、 ボタンを押します。AFエリアの移動に戻るには、もう一度 ボタンを押します。</p>



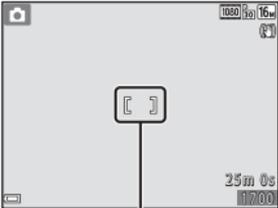
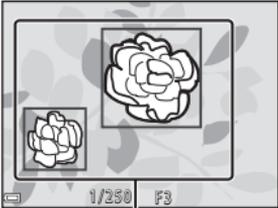
AF エリア



AF エリア



AF エリア

項目	内容
<p>【●】中央</p>	<p>画面中央の被写体にピントが合います。</p>  <p>AF エリア</p>
<p>📍 ターゲット 追尾</p>	<p>動く被写体の撮影に使います。ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。 →「ターゲット追尾の使い方」(□86)</p> 
<p>【🔍】ターゲット ファインドAF (初期設定)</p>	<p>カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。 →「ターゲットファインドAFについて」(□52)</p>  <p>AF エリア</p>

✓ AFエリア選択についてのご注意

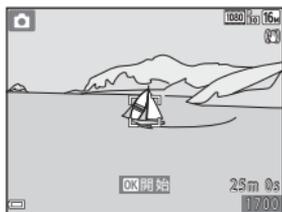
- 電子ズーム使用時は、**【AF エリア選択】**の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□55)。

ターゲット追尾の使い方

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン → MENU ボタン → AF エリア 選択 →  ボタン →  ターゲット追尾 →  ボタン → MENU ボタン

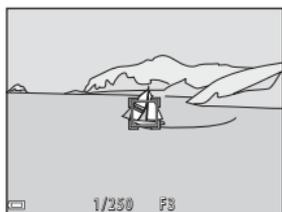
1 被写体を登録する

- 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、 ボタンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色いAF エリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、 ボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示が消えます。登録をやり直してください。



2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央の被写体にピントが合います。



ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。

AFモード（オートフォーカスモード）

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （オート撮影）モード → ボタン → MENUボタン → AFモード → ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししていないときも、ピントを合わせ続けます。常に動作音がします。
PRE-AF フリAF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししていないときも、構図が大きく変わったときなどに、自動でピントを合わせます。



動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード] (□100) で設定します。

ベストフェイスメニュー

- 「画像モード」については、「画像モード (画像サイズ/画質)」(Q77) をご覧ください。

セルフコラージュ

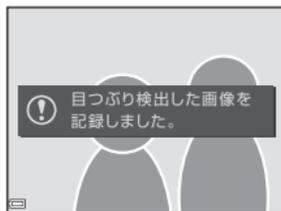
撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  ベストフェイスモード →  ボタン → MENU ボタン → セルフコラージュ →  ボタン

項目	内容
撮影回数	自動撮影する回数 (集約画像のコマ数) を設定します。 • [4回] (初期設定) と [9回] から選びます。
撮影間隔	1コマの撮影から次の撮影に移るまでの時間を設定します。 • [短い]、[中間] (初期設定)、[長い] から選びます。
シャッター音の設定	セルフコラージュで撮影するときのシャッター音を設定します。 • [標準]、[一眼レフ風]、[マジカル] (初期設定)、[なし] から選びます。 • セットアップメニューの [操作音] の [シャッター音] とは連動していません。

目つぶり軽減

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → ベストフェイスモード → ボタン → MENU ボタン → 目つぶり軽減 → ボタン

項目	内容
する	<p>撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。</p> <ul style="list-style-type: none">目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。フラッシュは使えません。
しない (初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。



目つぶり軽減についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (P55)。

再生メニュー

- 画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（[Q62](#)）をご覧ください。

Wi-Fi送信画像の指定

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → Wi-Fi送信画像の指定
→  ボタン

スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選べます。画像選択の画面で（[Q95](#)）、画像を選んでWi-Fi送信画像の指定または解除をします。

セットアップメニューの「[設定クリアー](#)」（[Q114](#)）またはWi-Fi設定メニューの「[設定の初期化](#)」（[Q103](#)）を実行すると、Wi-Fi送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。

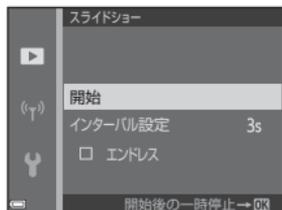
スライドショー

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → スライドショー → OK ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目のみを表示します。

1 マルチセレクターの ▲▼ で [開始] を選び、OK ボタンを押す

- スライドショーが始まります。
- [開始] を選ぶ前に [インターバル設定] を選び OK ボタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
- 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んで OK ボタンを押します。
- スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、■ を選び OK ボタンを押します。再開するには、▶ を選び OK ボタンを押します。



再生中の操作

- マルチセレクターの ◀▶ でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、OK ボタンを押します。

プロテクト設定

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → プロテクト設定 → OK ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面 (□95) で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。

メモリーカード/内蔵メモリーを初期化(フォーマット) (□113) すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像回転

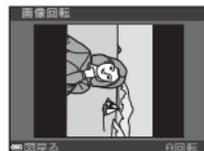
▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → 画像回転 → OK ボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き(縦横位置)を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと(□95)、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押すと90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転

OK ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

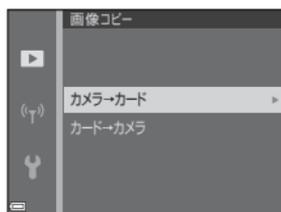
画像コピー（メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー）

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → 画像コピー → OK ボタン

メモリーカードの画像を内蔵メモリーへ、または内蔵メモリーの画像をメモリーカードへコピーできます。

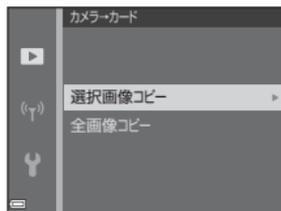
- 画像が記録されていないメモリーカードを入れて、再生モードに切り換えると「**撮影画像がありません。**」と表示されますが、MENU ボタンを押すと「**画像コピー**」を選べます。

1 マルチセレクターの▲▼でコピーする方向を選び、OK ボタンを押す



2 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

- 「**選択画像コピー**」を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます (P.95)。



✓ 画像コピーについてのご注意

- このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。

📎 連写グループの画像コピーについて

- 「**選択画像コピー**」で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- グループ内画像の表示中にMENU ボタンを押したときは、「**カード→カメラ**」方向のみコピーできます。「**表示グループコピー**」を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。

連写グループ表示方法

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → 連写グループ表示方法 → Ⓚ ボタン

連写グループ (□□60) の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
Ⓚ 1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。 再生画面でⓀが表示されます。
□□ 代表画像のみ (初期設定)	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセクターの◀▶で画像を選ぶ

- ズームレバー (□1) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- [画像回転] の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ



2 ▲▼でON/OFF (またはプリント枚数) を設定する

- ONにすると、選択画像にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 OKボタンを押して画像選択を決定する

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする → MENUボタン → メニューアイコン → 動画設定 → ボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画（97）があります。選べる項目は、[フレームレート設定]によって異なります（102）。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします（150）。

通常速度の動画

項目 (画像サイズ/フレームレート※1、 記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横：縦)
 1080/30p  1080/25p (初期設定)	1920×1080	16：9
 1080/60i※2  1080/50i※2	1920×1080	16：9
 720/30p  720/25p	1280×720	16：9
 480/30p  480/25p	640×480	4：3

※1 インターレース方式では fields/sです。

※2 スペシャルエフェクトまたはメイクアップの効果の種類によっては、選べません。

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）」（□□99）

項目	画像サイズ アスペクト比（横：縦）	内容
  HS 480/4 倍 ^{※1}	640×480 4 : 3	1/4 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間 ^{※2} ：15 秒 （再生時間：1 分）
  HS 1080/0.5 倍 ^{※1}	1920×1080 16 : 9	2倍の速度の早送り動画です。 • 最長撮影時間 ^{※2} ：2 分 （再生時間：1 分）

※1 スペシャルエフェクトまたはメイクアップの効果の種類によっては、選べません。

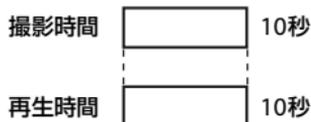
※2 撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができます。表中の最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。

 スローモーション再生と早送り再生について

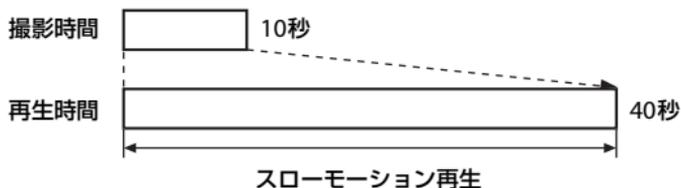
通常速度で撮影した場合：



$\frac{480}{1080}$ / $\frac{480}{1080}$ [HS 480/4 倍] で撮影した場合：

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。

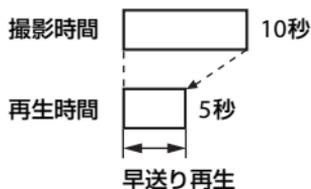
再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



$\frac{1080}{1080}$ / $\frac{1080}{1080}$ [HS 1080/0.5 倍] で撮影した場合：

通常速度の1/2のスピードで撮影します。

再生時は、2倍の速さで早送り再生します。



スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン → 動画設定 →  ボタン

HS（ハイスピード）動画で撮影すると、通常再生の1/4の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

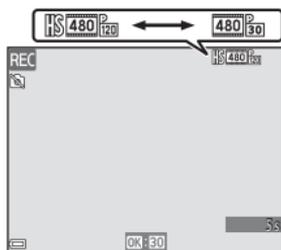
1 マルチセレクターの▲▼でHS 動画（) を選び、 ボタンを押す

- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。



2 ● () ボタンを押して、撮影を開始する

- HS動画で撮影が始まります。
- 撮影中に ボタンを押すと、HS動画と通常速度の撮影が切り換わります。
- 動画設定アイコンの表示は、HS動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。
- HS動画の最長撮影時間（) が経過すると、自動的に通常速度の動画撮影に切り換わります。



3 ● () ボタンを押して、撮影を終了する

AFモード

撮影画面にする → MENUボタン → メニューアイコン → AFモード → ボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。

動画手ブレ補正

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン → 動画手ブレ補正 →  ボタン

動画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] に設定してください。

項目	内容
 * する (ハイブリッド) (初期設定)	レンズシフト方式で光学的に補正すると同時に、画像処理で電子的に補正します。画角 (写る範囲) は狭くなります。
 する	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正しません。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

動画手ブレ補正についてのご注意

撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

風切り音低減

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン → 風切り音低減 →  ボタン

項目	内容
 する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなる場合があります。
しない (初期設定)	風切り音を低減しません。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

フレームレート設定

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン → フレーム
レート設定 → OK ボタン

動画撮影時のフレームレート（インターレース方式では fields/s）を選びます。フレームレートの設定を切り換えると、[動画設定]（□96）で選べる項目が変わります。

項目	内容
30 fps (30p/60i)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25 fps (25p/50i)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。

Wi-Fi設定メニュー

MENUボタンを押す → (📷)メニューアイコン → (📶)ボタン

カメラとスマートデバイスを接続するためWi-Fi（無線LAN）ネットワーク情報を設定します。

項目	内容
スマートデバイスと接続	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（☑116）
カメラ内画像の送信	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（☑116） • 無線接続をする前に、画像選択の画面で送信する画像を選択できます（☑95）。画像を選択した後、カメラのSSIDとパスワードが画面に表示されます。
Wi-Fi OFF	カメラとスマートデバイスの無線接続を終了するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（☑116）
設定	SSID：SSIDを変更できます。ここで設定したSSIDが、スマートデバイスに表示されます。英数字の1～24桁で設定します。
	認証/暗号：スマートデバイスと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN]（初期設定）のときは、暗号化しません。
	パスワード：パスワードを設定します。英数字の8～16桁で設定します。
	チャンネル：無線接続で使用するチャンネルを設定します。
現在の設定	現在の設定を一覧表示します。
設定の初期化	Wi-Fiの設定を初期設定に戻します。無線接続中に実行すると接続が切断されます。

文字入力画面の操作方法

- マルチセクターの▲▼◀▶でキーボードの英数字を選択します。OKボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの←または→を選んでOKボタンを押します。
- 1文字削除するには、🗑️ボタンを押します。
- 設定を確定するには、キーボードの↵を選んでOKボタンを押します。

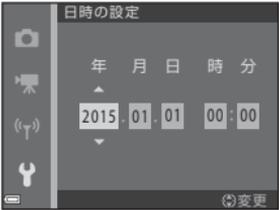


セットアップメニュー

地域と日時

MENUボタンを押す → ㄣメニューアイコン → 地域と日時 → OKボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	<ul style="list-style-type: none">項目を選ぶ：マルチセクターの◀▶を押します。日時を合わせる：▲▼を押します。設定を完了する：[分]を選び、OKボタンを押します。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅（🏠）を設定してから、訪問先（📍）のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセレクターの▲▼で [タイムゾーン] を選び、**OK** ボタンを押す



- 2 [**自宅**] または [**訪問先**] を選び、**OK** ボタンを押す

- 自宅か訪問先の日時に切り換わります。

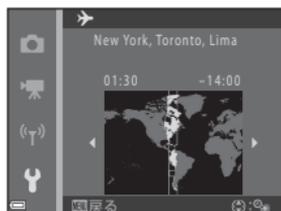


- 3 **▶**を押す



- 4 **◀▶**でタイムゾーンを選ぶ

- ▲を押すと夏時間(サマータイム)になり、☀️が表示されます。解除するには、▼を押します。
- **OK** ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定] で合わせてください。



モニター設定

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → モニター設定 →  ボタン

項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[する]
画面の明るさ	明るさを調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[3]

【モニター表示設定】について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	【情報ON】と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると【情報OFF】と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		

	撮影時	再生時
格子線+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は格子線を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>

日付写し込み

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 日付写し込み → OK ボタン

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。
日付の印字に対応していないプリンターでも
日付入りの画像をプリントできます。



項目	内容
 DATE 年・月・日	日付を写し込みます。
 DATE  年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込めません。
 - シーンモードの [夜景ポートレート] ( [手持ち撮影] 時)、[夜景] ( [手持ち撮影] 時)、[逆光] ([HDR] が [ON] 時) または [かんたんパノラマ]
 - 連写の設定 ( 81) が [先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps]
 - 動画
 - 動画撮影中に記録した静止画
 - 動画編集で作成した静止画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

 日付を写し込んでいない画像に撮影日時を入れてプリントするには
画像をパソコンに取り込んで、ソフトウェア「ViewNX 2」( 128) を使うと、
日付を入れてプリントできます。

静止画手ブレ補正

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 静止画手ブレ補正 → ボタン

静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] に設定してください。

項目	内容
 する (初期設定)	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正しません。

静止画手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

AF補助光

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → AF補助光 → ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約2.0 m、望遠側で約1.6 mです。 <ul style="list-style-type: none">AF エリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があります。
なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 電子ズーム → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームは使えません。

電子ズームについてのご注意

- 以下の撮影モードでは、電子ズームは使えません。
 - シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] ([HDR] 使用時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]
 - ベストフェイスモード
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません (□56)

操作音

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 操作音 → ボタン

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。 <ul style="list-style-type: none">• シーンモードの [ペット] または [鳥] では鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 <ul style="list-style-type: none">• 連写時や動画撮影時、シーンモードの [ペット] または [鳥] では鳴りません。

オートパワーオフ

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → オートパワーオフ → OK
ボタン

カメラが待機状態（13）になるまでの時間を設定します。
[30 秒]、[1 分]（初期設定）、[5 分]、[30 分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分（オートパワーオフを [30 秒] または [1 分] に設定した場合）
- [ペット自動シャッター] で撮影中：5分（オートパワーオフを [30 秒] または [1 分] に設定した場合）
- [笑顔自動シャッター] で撮影中：5分（オートパワーオフを [30 秒] または [1 分] に設定した場合）
- オーディオビデオケーブル接続中：30分
- HDMIケーブル接続中：30分
- ACアダプター EH-67接続中：30分

カード/メモリーの初期化（フォーマット）

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → カードの初期化/メモリーの初期化 →  ボタン

メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化（フォーマット）します。初期化すると、メモリーカード/内蔵メモリー内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。

メモリーカードを初期化するには

- メモリーカードをカメラに入れます。
- セットアップメニューの[カードの初期化]を選び ボタンを押します。

内蔵メモリーを初期化するには

- メモリーカードを取り出します。
- セットアップメニューの[メモリーの初期化]を選び ボタンを押します。

表示された画面で[初期化する]を選び ボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。
- Wi-Fi接続中は選択できません。

言語/Language

MENUボタンを押す → メニューアイコン → 言語/Language → ボタン

画面に表示する言語を設定します。

設定クリアー

MENUボタンを押す → メニューアイコン → 設定クリアー → ボタン

[はい] を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。
- Wi-Fi接続中は選択できません。

 ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード/内蔵メモリー内の画像をすべて削除 (□18) してから [設定クリアー] を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

電池設定

MENUボタンを押す → メニューアイコン → 電池設定 → ボタン

電池残量表示 (□10) を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

項目	内容
 アルカリ電池 (初期設定)	アルカリ単3形電池 (LR6)
 COOLPIX (Ni-MH)	Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 (ニッケル水素充電電池)
 リチウム電池	リチウム単3形電池 (FR6/L91)

認証マークの表示

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 認証マークの表示 → ボタン

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

バージョン情報

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → バージョン情報 → ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

- Wi-Fi接続中は選択できません。

Wi-Fi（無線LAN）を使う

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

以下の2つの方法で静止画が撮れます。

- カメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。
- リモート操作により、スマートデバイスでカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。

写真を見る

カメラのメモリーカードに保存した画像を、スマートデバイスに表示して取り込めます。カメラであらかじめ指定した画像をスマートデバイスに取り込むこともできます。

ご注意

ご購入時はパスワードなどのセキュリティは設定されていません。お客様の判断と責任で、必要なセキュリティをWi-Fi設定メニュー（□75）の【設定】で設定してからお使いください。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

2 説明や情報を確認し、インストールする

Wireless Mobile Utilityの説明書について

下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>
- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラと接続するには、カメラの Ψ （Wi-Fi）ボタンを押してから、スマートデバイスのWi-Fi設定をONにし、ネゴシエーション中に「Wireless Mobile Utility」を起動します。

カメラとスマートデバイスを接続する

1 カメラの「」 (Wi-Fi) ボタンを押す



- 右の画面が表示されます。
- スマートデバイスからの接続通信が3分以内にないと、[アクセスありませんでした。]を表示して、Wi-Fi設定画面に戻ります。
- Wi-Fi 設定メニューの [スマートデバイスと接続] を選んでも、右の画面を表示できません。



2 スマートデバイスのWi-Fi設定をONにする

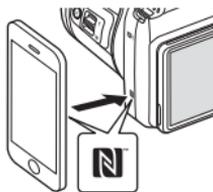
- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- スマートデバイスに利用可能なネットワーク名 (SSID) が表示されたら、カメラに表示されているSSIDを選びます。
- Wi-Fi設定メニューで [認証/暗号] を [WPA2-PSK-AES] に設定した場合は、パスワードの入力が求められます。カメラに表示されているパスワードを入力してください。

3 ネゴシエーション中に、スマートデバイスの「Wireless Mobile Utility」を起動する

- 「写真を撮る」または「写真を見る」を選ぶ画面が表示されます。
- 「カメラと接続できません。」が表示されたときは、手順1からやり直してください。
- 「スマートデバイスにソフトウェアをインストールする」(📖116)

NFC対応のスマートデバイスをカメラにタッチして接続する

NFC (Near Field Communication : 近距離無線通信) 対応のAndroid OSのスマートデバイスをお使いの場合は、カメラの  (Nマーク) にスマートデバイスのNFCアンテナ部をタッチすると、Wi-Fi接続とWireless Mobile Utilityの起動ができます。



Wi-Fi接続を解除するには

以下のいずれかの操作をします。

- カメラの電源をOFFにする
- カメラのWi-Fi設定メニューで **[Wi-Fi OFF]** を設定する（リモート操作時を除く）
- スマートデバイスのWi-Fi設定をOFFにする

Wi-Fi接続についてのご注意

- 以下の場合、Wi-Fi接続操作が無効になります。
 - カメラをテレビ、パソコンまたはプリンターに接続しているとき
 - 動画撮影中
 - 画像や動画の記録などの処理実行中
 - スマートデバイスと接続しているとき
- 電波の出力が禁止されている場所では、**[Wi-Fi OFF]** を設定してください。
- Wi-Fi接続中は、**[オートパワーオフ]** は無効になります。
- Wi-Fi接続中は、電池を通常より消耗します。
- 以下の場合、Wi-Fi接続が切断されます。
 - 電池残量が少なくなったとき
 - ショートムービーショーモードで動画撮影を開始したとき

セキュリティー設定について

Wi-Fi機能を搭載したカメラは、セキュリティー（暗号化やパスワード）を設定しないと、第三者に不正侵入される可能性があります。

お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーを設定してからお使いください。

Wi-Fi設定メニュー（□103）の**[設定]** で設定できます。

スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する

スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選べます。動画は選べません。

1 送信する画像を選ぶ

以下のメニューでスマートデバイスに取り込む画像を送信指定できます。

- 再生メニューの [Wi-Fi送信画像の指定] (☞90)
- Wi-Fi設定メニューの [カメラ内画像の送信] (☞103)

[カメラ内画像の送信] の場合は、画像を選択した後、カメラのSSIDとパスワードが画面に表示されます。

2 カメラとスマートデバイスを接続する (☞117)

「写真を見る」をタッチすると、確認画面が表示され、指定した画像をスマートデバイスに取り込みます。

✓ 再生中の画像を送信指定に追加する

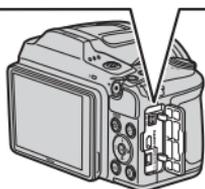
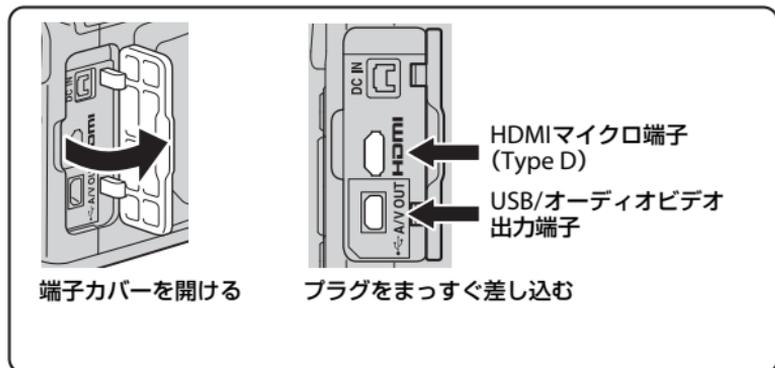
カメラの再生モード時に、(Wi-Fi) ボタンを押すまたはNFCによりWi-Fi接続すると、画面に表示されている画像を送信指定に追加します。

- 1コマ表示の場合は、表示中の1コマを追加します。代表画像で表示中の連写グループは、グループ内の画像をすべて追加します。
- サムネイル表示の場合は、カーソルで選択中の1コマを追加します。
- カレンダー表示の場合は、選択中の撮影日の画像すべてを追加します。

Wi-Fi設定メニューの [スマートデバイスと接続] から接続を行ったときは無効です。

テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビやプリンター、パソコンに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-67を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-67以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

📖122



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンを使わずにプリントする

📖124



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

📖128



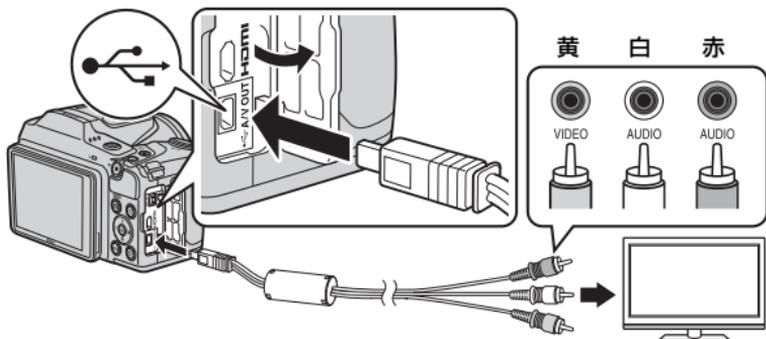
パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。
• パソコンと接続する前に、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください（📖128）。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

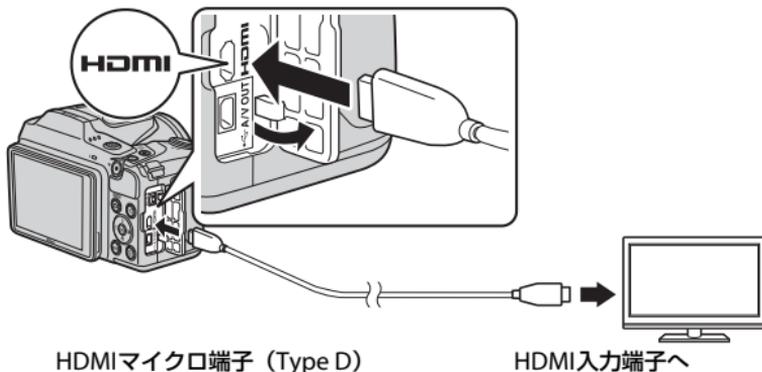
1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐ引き抜いてください。

オーディオビデオケーブルで接続する場合



市販のHDMIケーブルで接続する場合

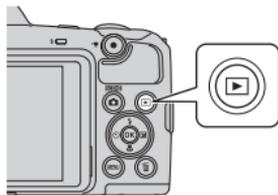


2 テレビの入力を外部入力に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの▶（再生）ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは点灯しません。



テレビ出力時の画像の解像度について

接続するテレビに対応した解像度を、1080i、720p、480pからカメラが自動的に選んで出力します。

HDMIとは

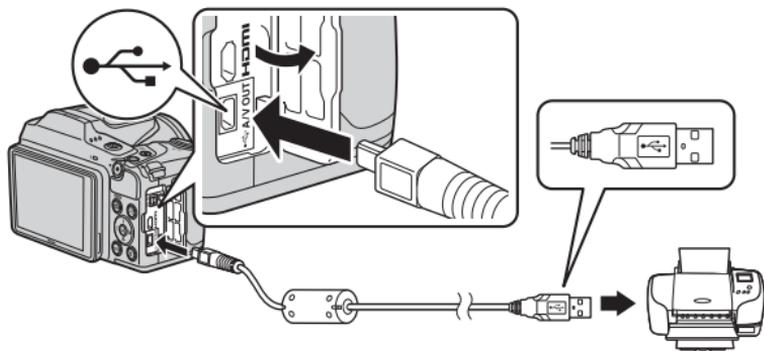
「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。

プリンターとの接続(ダイレクトプリント)

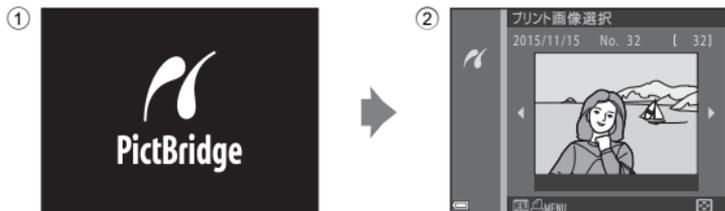
PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。

カメラとプリンターを接続する

- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する
 - プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



- 3 カメラの電源をONにする
 - カメラの液晶モニターに[PictBridge]画面(①)が表示された後、[プリント画像選択]画面(②)が表示されます。



1コマずつプリントする

1 マルチセクターの◀▶でプリントする画像を選び、**OK**ボタンを押す

- ズームレバーを **W** () 側に動かすと一覧表示に、**T** () 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



2 ▲▼で [プリント枚数設定] を選び、**OK**ボタンを押す

- ▲▼でプリント枚数 (9枚まで) を設定し、**OK**ボタンを押します。



3 [用紙設定] を選び、**OK**ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、**OK**ボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



4 [プリント実行] を選び、**OK**ボタンを押す

- プリントが始まります。



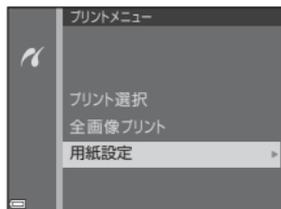
複数の画像をプリントする

- 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU (メニュー) ボタンを押す

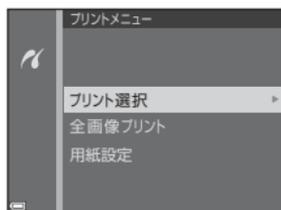


- 2 マルチセレクトターの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OK ボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。
- プrintメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、OK ボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

- マルチセレクターの◀▶で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️とプリント枚数が表示されます。選択をキャンセルするには、枚数を0にします。
- ズームレバーをT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

メモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。

ViewNX 2を使う（パソコンに画像を取り込む）

ViewNX 2をインストールする

ViewNX 2は、画像や動画のパソコンへの取り込み、閲覧、編集、共有を可能とする無償ソフトウェアです。下記ウェブサイトからインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

<http://nikonimglib.com/nvnx/>

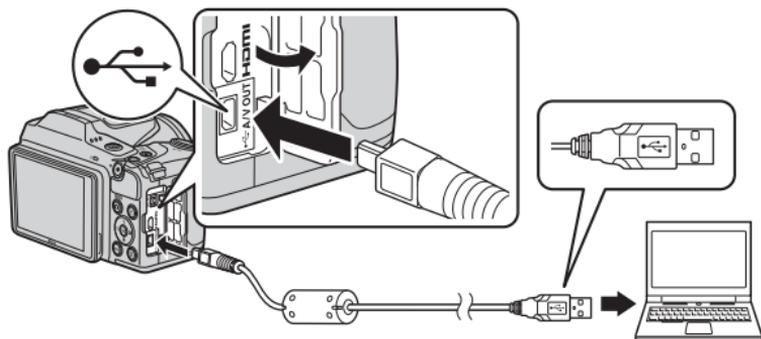
最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーにメモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。
内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにメモリーカードを入れずにパソコンに接続します。



起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2 を選びます。



- 1 [画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用] を選んで、[OK] をクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする

メモリーカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

▼ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 Nikon Transfer 2が起動したら、[転送開始] をクリックする



- 画像の取り込みが始まり、完了するとViewNX 2が起動して取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。

3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

付録

取り扱い上のご注意.....	131
カメラについて.....	131
電池について	132
メモリーカードについて	133
お手入れ方法	134
クリーニングについて	134
保管について	134
警告メッセージ	135
故障かな?と思ったら.....	138
記録データのファイル名.....	144
別売アクセサリ.....	145
主な仕様.....	146
推奨メモリーカード.....	150
索引.....	152
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内.....	156
アフターサービスについて	157

取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□iv~x)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

電池について

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使わないでください。
- 残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、電源のON/OFFを何度も繰り返さないでください。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 充電について

別売のリチャージャブルバッテリーをお使いの際は、撮影の前に充電してください。ご購入時にはフル充電されておりません。

バッテリーチャージャーに付属の説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

● リチャージャブルバッテリーの充電について

- 型番の異なる電池、残量の異なる電池を混用しないでください。
- このカメラにEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください。MH-73以外の充電器では充電しないでください。
- MH-73でEN-MH2以外の充電電池を充電しないでください。
- Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

● ニッケル水素充電電池について

- ニッケル水素充電電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（電池容量が一時的に低下したような特性を示す現象）で、**[電池残量がありません。]**と早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素充電電池の残量は、お使いにならないときでも自然放電で減ってきます。お使いになる直前に充電するようおすすめします。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあなたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池でもカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を表示することがありますので、ご注意ください。

● リサイクルについて

使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。



Ni-MH

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません。推奨メモリーカード→□□150
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- **メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。**初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードを入れたあとにカメラに【このカードは初期化されていません。初期化しますか？】の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、【いいえ】を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、【はい】を選んでⓀボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
 - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
 - 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
- ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。**

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
電池が高温です。 電源をOFFにします。 カメラが高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	—
カードがロックされています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	—
このカードは使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 • 動作確認済みのメモリーカードを使ってください。 • メモリーカードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。	7、150
カードに異常があります。		
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとメモリーカード内のデータはすべて削除されるため、メモリーカード内に必要なデータが残っているときは、[いいえ]を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。[はい]を選んでⓧボタンを押すと、メモリーカードを初期化できます。	133
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換してください。	7、18
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	113
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	113
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	18
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	62、142

表示	考えられる原因や対処法	📖
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してください。	69、150
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 <ul style="list-style-type: none"> 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 内蔵メモリー内の画像をメモリーカードにコピーするときは、MENU ボタンを押して再生メニューの [画像コピー] を選んでください。 	8 93
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	—
表示できる画像がありません。	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	91
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	92
アクセスありませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信できません。無線接続の操作をやり直してください。 <ul style="list-style-type: none"> (Wi-Fi) ボタンを押す NFC対応のスマートデバイスをカメラにタッチする Wi-Fi 設定メニューの [スマートデバイスと接続] を選択する 	103、117
接続できませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信中、接続に失敗しました。Wi-Fi 設定メニュー [設定] で [チャンネル] を別の番号に変更し、無線接続の操作をやり直してください。	103、117
Wi-Fiの接続を切断しました。	以下の場合、Wi-Fi接続が切断されます。 <ul style="list-style-type: none"> 電波の状態が悪い 電池残量が少ない ケーブルやメモリーカードを抜き挿しした じゅうぶんに残量のある電池を使い、テレビ、パソコン、プリンターは取り外して、無線接続をやり直してください。	103、117
フラッシュを上げてください。	フラッシュが閉じています。 シーンモードの [夜景ポートレート] または [逆光] ([HDR] が [OFF] 時) で撮影するときは、フラッシュをポップアップして撮影してください。	24、26、43

表示	考えられる原因や対処法	📖
レンズの動作不良です。 電源OFF後、再度実行 してください。	レンズキャップを外してください。 エラー表示が続くときは、ニコンサービス 機関までご連絡ください。	6、138
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しま した。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブル の接続をやり直してください。	124
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう 一度電源をONにしてください。エラー表示 が続くときは、ニコンサービス機関まで ご連絡ください。	138
プリンターエラー： プリンターを確認 してください。	エラーの原因を取り除いた後、[継続]を選 んでⓧボタンを押し、プリントを再開して ください。*	-
プリンターエラー： 用紙を確認してください。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継 続]を選んでⓧボタンを押し、プリントを 再開してください。*	-
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選 んでⓧボタンを押し、プリントを再開して ください。*	-
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継 続]を選んでⓧボタンを押し、プリントを 再開してください。*	-
プリンターエラー： インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[継続]を選んでⓧ ボタンを押し、プリントを再開してくだ さい。*	-
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、[継続]を選んでⓧ ボタンを押し、プリントを再開してくだ さい。*	-
プリンターエラー： ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル]を選びⓧボタンを押し、プ リントを中止してください。	-

* プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。 	—
電源をONにできない	電池残量がありません。	7、132
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	13 132 —
液晶モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていません。 オートパワーオフ機能が働きました。 フラッシュランプの点滅中は、フラッシュの充電中です。充電完了までお待ちください。 カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。 カメラとスマートデバイスをWi-Fi接続して、カメラをリモート操作中です。 	9 13 — — —
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—
液晶モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> 液晶モニターの明るさを調節してください。 液晶モニターが汚れています。 	107 134

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画面で🔋が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で🔋が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2015/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	3、105
撮影日時が正しく表示されない		
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	107
[日付写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	105
[日付写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 日付を写し込めない撮影モードになっています。 動画には写し込みできません。 	109
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	9、11
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
カメラから音がする	[AFモード] の [常時AF] 時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	20、100

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	120
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、📷 ボタン、シャッターボタン、または 🔴 (🔴) ボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 フラッシュランプの点滅中は、フラッシュの充電中です。 電池残量がありません。 	1、17 75 44 7、132

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。おまかせシーンモード、シーンモードの【クローズアップ】、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー【AF補助光】を【オート】にしてください。 電源を入れ直してください。 	20、21、22、25、46 53 110 —
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 ISO感度を上げて撮影してください。 静止画を撮影するときは【静止画手ブレ補正】を、動画を撮影するときは【動画手ブレ補正】を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 	43 83 101、110 45
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じてください。	11、43
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが閉じています。 フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	11、43 48 55
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー【電子ズーム】が【しない】になっています。 撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズームを使えません。 	111 56、111
【画像モード】が選べない	【画像モード】が制限される他の機能が設定されています。	55
シャッター音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー【操作音】の【シャッター音】が【なし】になっています。【あり】にしても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 スピーカーをふさがないでください。 	111 1
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー【AF補助光】が【なし】になっています。【オート】に設定していても、AFエリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があります。	110

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	134
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	25、79
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 低いISO感度にしてください。 	43 83
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが閉じているか、フラッシュが発光しない撮影モードになっていません。 フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 ISO感度を上げてください。 逆光で撮影しています。シーンモードの[逆光]にするか、フラッシュをポップアップしてフラッシュモードを👇(強制発光)にしてください。 	11、43、48 12 147 47 83 26、43
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	47
赤目以外の部分が補正された	[夜景ポートレート]以外の撮影モードで、フラッシュモードを👇👁️(赤目軽減自動発光)以外にして撮影してください。	43、48
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [メイクアップ効果] の [美肌] をお試しください。 	51 65
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを👇👁️(赤目軽減自動発光)にして撮影したとき シーンモードの[夜景ポートレート]、[夜景]または[逆光]([HDR]が[ON]時)で撮影したとき 美肌機能で撮影したとき 連写で撮影したとき 	— 44 24、25、26 34、51 81

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は、拡大表示できません。 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 	—
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 メモリーカード / 内蔵メモリーに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	31、62 — — —
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 メモリーカードに画像が記録されていません。 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 	— — 8
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 Nikon Transfer 2が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2については、ViewNX 2のヘルプをご覧ください。 	— 120 120、128 — —

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードに画像が記録されていません。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするには、メモリーカードを取り出してください。 	— 8
カメラ側で用紙設定ができない	<p>PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	—

記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: **DSCN0001.JPG**

① ② ③

① 識別子	カメラの画面には表示されません。 <ul style="list-style-type: none">• DSCN：編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画• SSCN：スモールピクチャー画像• RSCN：トリミング画像• FSCN：トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、動画編集で作成した動画
② ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。 <ul style="list-style-type: none">• .JPG：静止画• .MOV：動画

別売アクセサリー

充電器/充電池※1	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーチャージャー MH-73(Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 4 本付き) ※2• 交換用充電池：Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2-B4 (4 本入り)
ACアダプター	ACアダプター EH-67※2
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP16
ハンドストラップ	ハンドストラップ AH-CP1

※1 Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 をこのカメラに使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください。また、残量の異なる電池を混用しないでください (□□132)。Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

※2 日本国内専用電源コード (AC 100 V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ(ニコンダイレクト) <http://shop.nikon-image.com/>でもお買い求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。
アクセサリーの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX L840

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1602万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1676万画素
レンズ	光学38倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.0-152 mm（35mm判換算22.5-855 mm相当の撮影画角）
開放F値	f/3-6.5
レンズ構成	9群12枚（EDレンズ3枚）
電子ズーム倍率	最大4倍（35mm判換算で約3420 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能	レンズシフト方式（静止画） レンズシフト方式と電子式の併用（動画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">先端レンズ面中央から約30 cm～∞（広角側）、約3.5 m～∞（望遠側）マクロモード時は先端レンズ面中央から約1 cm～∞（広角側）
AFエリア	顔認識オート、マニュアル（99点）、中央、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
画像モニター	広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約92万ドット、輝度調節機能付き（5段階） チルト式（下方約85°、上方約90°可動）
視野率（撮影時）	上下左右とも約99%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約99%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約20 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ）

記録画素数 (画像モード)	<ul style="list-style-type: none"> • 16M (高画質) [4608×3456★] • 16M [4608×3456] • 8M [3264×2448] • 4M [2272×1704] • 2M [1600×1200] • VGA [640×480] • 16:9 [4608×2592] • 1:1 [3456×3456]
ISO感度 (標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 125 ~ 1600 • ISO 3200、6400 (オート撮影モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光 (電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッター スピード	<ul style="list-style-type: none"> • 1/1500 ~ 1 秒 • 1/4000 秒 (高速連写時の最高速) • 4 秒 (シーンモードの [打ち上げ花火])
絞り	電磁駆動によるNDフィルター (-2 AV) 選択方式
制御段数	2 (f/3、f/6 [広角側])
セルフタイマー	10秒、2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約 0.5~6.9 m (広角側) 約 3.5 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
外部インターフェース	
USB端子	Hi-Speed USB <ul style="list-style-type: none"> • ダイレクトプリント (PictBridge) 対応 • オーディオビデオ出力端子兼用 (NTSC、PAL から選択可能)
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子 (Type D)
DC入力端子	ACアダプター EH-67 (別売) 用

Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
通信距離	約10 m
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11ch)
データ転送速度 (実測値)	IEEE 802.11b : 5 Mbps IEEE 802.11g : 20 Mbps IEEE 802.11n : 20 Mbps
セキュリティ	OPEN/WPA2
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
表示言語	日本語、英語
電源	<ul style="list-style-type: none"> アルカリ単3形電池、リチウム単3形電池のいずれかを各4本 リチャージャブルバッテリー EN-MH2 (ニッケル水素充電池) × 4本 (別売) ACアダプター EH-67 (別売)
電池寿命^{※1}	
静止画撮影時	<ul style="list-style-type: none"> 約 590 コマ (アルカリ電池使用時) 約 1240 コマ (リチウム電池使用時) 約 740 コマ (EN-MH2 使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> 約 1 時間 35 分 (アルカリ電池使用時) 約 4 時間 30 分 (リチウム電池使用時) 約 2 時間 30 分 (EN-MH2 使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 113.5×78.3×96.0 mm (突起部除く)
質量	約 538 g (電池、メモリーカード含む)

動作環境

使用温度 0℃～40℃

使用湿度 85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、新品のアルカリ単3形電池使用時のものです。
- ※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。付属の電池はお試し用の電池です。リチウム電池の数値は、市販の「エナジャイザー リチウム乾電池（単3形）」使用時の値です。
- ※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

推奨メモリーカード

下記のメモリーカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード	SDXCメモリーカード
SanDisk	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	-	8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

- 上記メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のメモリーカードは、動作の保証をいたしかねます。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2015 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

索引

マーク・英数

T 望遠ズーム	14
W 広角ズーム	14
Q 拡大表示	17、57
サムネイル表示	17、58
おまかせシーンモード	20、22
シーンモード	20、23
SOFT スペシャルエフェクトモード	20、32
ベストフェイスモード	20、34
ショートムービーショーモード	20、38
オート撮影モード	20、41
再生モード	17
撮影日一覧モード	59
Wi-Fi 設定メニュー	75、103
セットアップメニュー	75、105
決定ボタン	2、75
撮影モードボタン	2、20
(動画撮影) ボタン	2、21
再生ボタン	2、17
削除ボタン	2、18
MENU メニューボタン	2、75
(フラッシュポップアップ) ボタン	1、11、43
(クイックバックズーム) ボタン	1
(Wi-Fi) ボタン	1、117、119
フラッシュモード	21、43
セルフタイマー	21、45
マクロモード	21、46
露出補正	21、34、42、47
ヘルプ	23
N マーク	1、117、119
1 コマ表示	17
AC アダプター	145
AF エリア	13
AF エリア選択	84
AF 表示	3

AF 補助光	1、110
AF モード	87、100
AV ケーブル	121、122、145
BGM	38
DC 入力端子	2
D- ライティング	64
EN-MH2	132、145
HDMI ケーブル	121、122
HDMI マイクロ端子	2、120
HDR	26
HS 動画	97、99
ISO 感度設定	83
Nikon Transfer 2	129
PictBridge	121、124
SD メモリーカード	7、133、150
USB/ オーディオビデオ出力端子	2、120、122、124、128
USB ケーブル	120、124、128
ViewNX 2	128
Wi-Fi OFF	103、118
Wi-Fi 設定メニュー	75、103
Wi-Fi 送信画像の指定	90
Wireless Mobile Utility	116

ア

赤目軽減自動発光	44
赤目補正	64
鮮やかさ	34、42
圧縮率	77
アルカリ電池	7
色合い	42
打ち上げ花火	23、25
笑顔自動シャッター	35
液晶モニター	2、3、16、134
オーディオビデオケーブル	121、122、145
オート撮影モード	20、41
オートパワーオフ	13、112
オートフォーカス	53、100
おまかせシーンモード	20、22

音声入力 / 映像入力端子	121、122	撮影回数	38、88
音量	72	撮影間隔	88
カ		撮影後の画像表示	107
カードの初期化	7、113	撮影終了	39
顔認識オート	84	撮影日一覧モード	59
顔認識撮影	50	撮影メニュー	75、77
拡大表示	17、57	撮影モード	20
風切り音低減	101	サマータイム	9、106
画像回転	92	サムネイル表示	17、58
画像コピー	93	三脚ネジ穴	2、148
画像編集	62	シーンモード	20、23
画像モード	77	時差	106
カメラ内画像の送信	103	自動発光	44
画面の明るさ	107	絞り値	16
カレンダー表示	58	シャッター音	111
かんたんパノラマ 	23、29	シャッター音の設定	88
かんたんパノラマ再生	31	シャッタースピード	16
簡単レタッチ	63	シャッターボタン	1、13
感度制限オート	83	充電器	145
逆光 	23、26	充電電池	145
強制発光	44	ショートムービーショーメニュー	38
記録可能コマ数	10、78	ショートムービーショーモード	20、38
記録可能時間	68、69	常時 AF	100
クイックエフェクト	62	初期化	7、113
クリエイティブスライダー	42	シングル AF	100
クローズアップ 	23、25	ズーム	14
クロスプロセス 	32	ズームレバー	1、12、14
言語 / Language	114	ストラップ	6
現在の設定	103	ストラップ取り付け部	1
広角ズーム	14	スピーカー	1
光学ズーム	14	スペシャルエフェクト	38
高速連写	81	スペシャルエフェクトモード	20、32
硬調モノクローム 	32	スポーツ 	23、24
サ		スマートデバイスと接続	103、117
再生	17、60、72	スモールピクチャー	66
再生メニュー	75、90	スライドショー	91
再生モード	17	スローシンクロ	44
サイドズームレバー	1、12、14	スローモーション撮影	97、99
先取り撮影	81、82	静止画手ブレ補正	110
削除	18、61		
撮影	12、20		

静止画の切り出し	72、74
接写	46
設定	103
設定音	111
設定クリアー	114
設定の初期化	103
セットアップメニュー	75、105
セルフコラージュ	36、88
セルフタイマー	21、45
セルフタイマーランプ	1、45
セレクトカラー 	32
操作音	111
ソフト	34
ソフト SOFT	32

タ

ターゲット追尾	85、86
ターゲットファインド AF	52、85
タイムゾーン	9、105
ダイレクトプリント	121、124
端子カバー	2
単写	81
地域と日時	9、105
月 	28
テレビ	121、122
電源スイッチ / 電源ランプ	1、9
電子ズーム	14、111
電池	7、11
電池 / メモリーカードカバー	2
電池残量	10
電池設定	114
トイカメラ風 1 	32
トイカメラ風 2 	32
動画撮影	21、68
動画撮影中の静止画記録	71
動画設定	96
動画手ブレ補正	101
動画編集	73、74
動画メニュー	75、96
鳥 	28
トリミング	57、67
トワイライト 	23

ナ

内蔵メモリー	8
内蔵メモリーの初期化	113
夏時間	9、106
日時の設定	9、105
ニッケル水素充電池	7
認証マークの表示	115
ノスタルジックセピア SEPIA	32

ハ

バージョン情報	115
パーティー 	23、24
パソコン	121、128
半押し	16
ビーチ 	23
ヒストグラム表示	47
日付写し込み	109
日付の表示順	9、105
美肌	34
ピント	50
ファイル名	144
ファンデーション	34
風景 	23
フォーカスロック撮影	54
フォーマット	7、113
フラッシュ	1、11、43
フラッシュモード	21、43
フラッシュランプ	2、44
プリセットマニュアル	80
プリンター	121、124
プリント	121、125、126
フレームレート設定	102
プロテクト設定	92
ベストフェイスメニュー	75、88
ベストフェイスモード	20、34
別売アクセサリ	145
ペット 	23、27
ペット自動シャッター	27
ヘルプ	23
ポートレート 	23
望遠ズーム	14
ポップ POP	32

ホワイトバランス 79

マ

マイク (ステレオ) 1
マクロモード 21、46
マルチセクター 2、75
ミラー  32
無線 LAN 116
メイクアップ効果 34、65
目つぶり軽減 89
メモリーカード 7、133、150
メモリーカードスロット 7
メモリーカードの初期化 7、113
メモリーの初期化 113
モニター設定 107
モニター表示設定 107

ヤ

夜景  23、25
夜景ポートレート  23、24
夕焼け  23
雪  23
用紙設定 125、126

ラ

リチウム電池 7
料理  23、25
連写 81
連写グループ表示方法 60、94
レンズ 1、146
露出補正 21、34、42、47

ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータギンザ1・2階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー28階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル2階
営業時間：10:30～18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー13階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

 ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)
0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル)
0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

(各サービスセンター共通)

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)

 (ナビダイヤル)
0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577(ニコンカスタマーサポートセンター)におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリーがあるカメラでは、内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでの相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**